

ふじさわ未来課題

06 災害や犯罪に対して不安なく暮らせるまち

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市では、地区防災計画を策定し、いざというときのための地域での迅速な対応のための準備をし、訓練を行っています。
- ② 高齢化が進む中で、要援護者の支援のための活動の備えが必要となっています。
- ③ 2009年（平成21年）の市内の刑法犯発生件数は、1,151件、窃盗犯発生件数は3,455件となっています。
- ④ 2009年（平成21年）の市内の火災件数は109件で、うち放火（疑いを含む。）が54件となっています。
- ⑤ 2009年（平成21年）の市内の総救急件数は18,015件で、1日平均で約50件の出動をしています。



この「ふじさわ未来課題」に関連する事業

【まちづくり市民連携事業】

市内の企業では、次のような取り組みが行なわれています。防犯カメラや万引き防止対策はほとんどの店舗で行われています。（藤沢市商業振興の規定による地域貢献計画より）

- ① 災害時の協力 ルームズ大正堂つじどう店、文具スーパー事務キチ、そうてつローゼン湘南台店、スーパーセンターライアル藤沢羽鳥店、湘南台ウエストプラザ、コジマNEW藤沢店、ケーヨーデイツーみろく寺店・藤沢石川店・湘南台店、ケーズデンキ藤沢本店、株式会社ヴィクトリア湘南台店、FUJI 鵜沼店・善行店、ケーズデンキ湘南藤沢本店、生活協同組合コープかながわ石川店・湘南台店、イオン株式会社ジャスコ藤沢店、湘南とうきゅう
- ② こども110番への協力 株式会社ヴィクトリア 湘南台店、オーケーディスカウントセンター藤沢店、イトーヨーカドー藤沢店
- ③ 防犯協力会との協力体制 ルミネ藤沢店
- ④ ポスター類の掲出等 ルミネ藤沢店、パシオス藤沢店、トレアージュ白旗、株式会社ダイエー湘南台店、株式会社 小田急百貨店藤沢店、イトーヨーカドー藤沢店・湘南台店、CDビル・ダイヤモンドビル・フジサワ名店ビル、生活協同組合コープかながわ石川店・湘南台店、株式会社ビックカメラ藤沢店、藤沢オーパ、湘南とうきゅう

【戦略目標】

06 災害や犯罪に対して不安なく暮らせるまち

【成果指標】

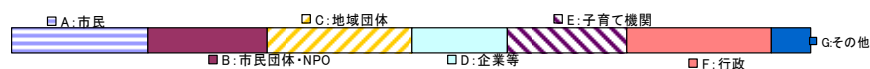
- ① 市内で犯罪の危険を感じた人の割合
- ② 地域で災害への備えができていると感じる人の割合
- ③ 市内の人口1万人当たりの出火率
- ④ 市内の犯罪発生件数（刑法犯認知件数）

【現状値】 ①28% ②17% ③3件 ④1,151件

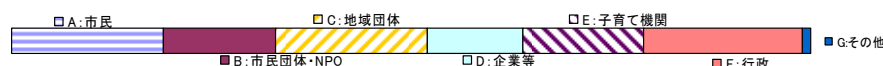
【めざそう値】 3年後：①25% ②30% ③2件 ④900件

6年後：①20% ②40% ③1件 ④608件

【役割の担い手】 ①A:17% B:15% C:18% D:12% E:15% F:18% G:5%



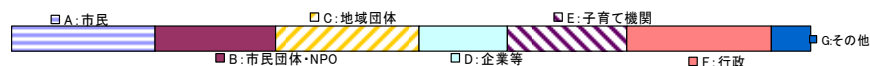
②A:19% B:14% C:19% D:12% E:15% F:20% G:1%



③A:23% B:12% C:19% D:12% E:15% F:18% G:1%



④A:18% B:15% C:18% D:11% E:15% F:18% G:5%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策－24》 市民の防災意識と救命意識の高揚による自主的災害活動の強化，推進
＜成果の視点＞ 市民の意識の高まりによって，自主的な災害活動がなされる地域になること。

〔主要な指標〕

《政策－25》 防災活動と地域防災力の強化，充実

＜成果の視点＞ 地域の活動によって，防災の強化，充実がなされること

〔主要な指標〕 市内各地区での自主防災訓練の延べ参加者数

《政策－26》 防犯対策の強化・充実

＜成果の視点＞ 市民，地域と行政によって犯罪から守られる地域になること

〔主要な指標〕 市内での防犯パトロールの延べ参加者数

《政策－27》 災害に強いまちづくりの推進

＜成果の視点＞ 災害が発生したときにも被害を抑えるまちであること

〔主要な指標〕 建物焼損床面積（㎡）

《政策－28》 安全・安心な都市基盤・都市環境づくりの推進

<成果の視点> 安全で安心なまちと環境が整っていること

[主要な指標] 災害（地震・風水害）による被害件数

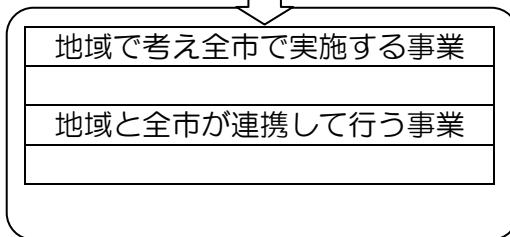
《政策－２９》 広域連携による消防体制の強化，充実

<成果の視点> 市内のどこでも安心できる消防・救急体制が整っていること

[主要な指標] 救急搬送（管内搬送）の収容所要時間が短縮された割合

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

まちづくり 地域事業	まちづくり 行政事業 （地区）	まちづくり 行政事業 （全市）	まちづくり 市民連携 事業	まちづくり 公民連携 事業	まちづくり 広域連携 事業



事業名	防災行政無線(固定系)デジタル化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-24-1	地域分権区分					
事業内容	総務省では、「周波数再編アクションプラン」を改定し、現行のアナログ無線システムについては、「周波数の有効利用の観点から、デジタル化を推進」とする基本的な方針が示されています。その具体的な取組として、災害時における住民の安全確保のための重要な情報伝達手段である、防災行政無線の固定局について、機器の更新時期に合わせてデジタル化への移行を推進します。					
活動指標	固定系親局、子局、戸別受信機フルデジタル化率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	10%	6年後目標値	32%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、災害時における身体、生命の安全を確保するために情報伝達手段確保の役割を有します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	設置	供用	→	→	→	→
事業の成果	デジタル方式へ移行することにより、データ通信、文字情報の表示、FAXによる災害情報の送信、子局から子局への再送信など伝達方法が広がり、市民への災害情報の伝達の充実、強化が期待できます。それにより、市民の意識の高まり、自主的な災害活動がなされる地域になることが期待される。					
実施主体	藤沢市総務部災害対策課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	藤沢市救急ワークステーション事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-24-2	地域分権区分					
事業内容	市民の救急要請内容が変遷し、激増することが予測される救急需要対策として、藤沢市民病院救命救急センターに隣接する場所に、通常の出場機能を有した施設を設置し、待機時の病院実習体制を併合する救急ワークステーションについての検討を進めます。 1 救命救急センターに隣接地に、通常の出場機能を有する救急ワークステーションの設置 2 待機中の救急隊員に対する病院実習等の研修体制、教育プログラムの確立 3 有事の際に使用する救急活動資器材の備蓄					
活動指標	①検討進捗度 ②設置進捗度					
目標値	現状値	①10%②0%	3年後目標値	①100%②0%	6年後目標値	②100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、身体、生命の安全を確保するために救急体制向上の役割を有します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	事例調査	検討	→	工事・供用	→	→
事業の成果	救急隊員の知識・技術の向上による安心・安全体制の強化を図ることにより、地域医療を充実し、救急力の強化に伴う救命率の向上と防ぎうる死を減少させることにより、安心なまちの形成に寄与します。					
実施主体	藤沢市消防本部救急救命課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	透析者の災害対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
1-3-18-06-24-3	地域分権区分					
事業内容	<p>～透析者の災害対策(地震災害時の透析者の救助といかに透析医療を確保するか)事業～</p> <p>透析者(透析医療を必要としている人)は1週間に3回、1回4～5時間の透析医療を継続して受けることで生命を維持できています。地震災害が発生すると広い地域で被害が起こります。これに対する対策として、透析者の災害時避難者名簿の維持と更新、藤沢市要援護者支援プランとリンクさせて地域の透析者(障害者)の救助・支援情報をその地域に提供し利用していただき、安心体制づくりをしていきます。</p>					
活動指標						
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	藤沢腎友会は患者の自己申告による登録希望を整理し災害対策マニュアルを作成・更新します。また、藤沢市生涯福祉課はこの資料を確認し、市民センター等へ配布します。更に市民センターは、これを地域自治会に開示し、自治会が災害時要支援者の救助・支援に利用します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	藤沢市内透析施設の協力参加を得て、名簿有効利用法を地域の自治会に検討して頂きたいです。また、透析施設の理解により、登録名簿の充実を図り、全市に障害者の災害に対して、安心・安全できる充実したまちづくりに寄与したいです。					
実施主体	藤沢腎友会			(連絡先) 0466-34-6338		

事業名	災害時要援護者支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-25-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>防災活動と地域防災力の強化、充実と災害時要援護者支援の体制整備の実現を図るため、市民センター・公民館と連携を取りながら、自主防災組織に対し災害時の避難支援体制作りの構築に対する支援を行います。市内各地区の自主防災組織に対して、災害時の避難支援体制づくりの要請と説明会を行い、支援体制が整った自主防災組織に対して、災害時要援護者名簿を提供することで、地域におけるともに支え合う体制づくりの構築を推進します。</p>					
活動指標	災害時要援護者名簿提供自主防災組織数					
目標値	現状値	210団体	3年後目標値	380団体	6年後目標値	430団体
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民が地域での共助をもとに災害から身体と生命を守ることが期待されます。市は、そのための体制づくりを支援します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	調査・実施	→	→	→	→	→
事業の成果	障がい等により自力で避難したり、自ら救出を求めたりすることが困難な災害時要援護者が、住み慣れた地域で安全・安心に暮らし、災害発生時もしくは発生の恐れが生じた時に安全を確保されます。					
実施主体	藤沢市保健福祉部保健医療福祉課			(連絡先) 0466-25-1111		

事業名		消防団待機宿舎改築事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-3-18-06-25-2	地域分権区分						
事業内容		老朽化した消防団待機宿舎を、耐震、耐火性を考慮した鉄骨造へ改築し、地域の消防防災拠点として強化します。木造の消防団待機宿舎で、築30年経過を基準とし、老朽化が進む消防団待機宿舎の機能向上を計画的に実施します。					
活動指標		消防団待機宿舎整備計画に基づく年度達成(進捗)率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	20%	6年後目標値	40%	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待		市は、地域防災拠点の強化を図ることを目的とする施設整備を担い、地域での消防団活動を支援します。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
		実施	→	→	→	→	→
(地域)							
事業の成果		市民の生命・身体及び財産を火災等から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害の軽減を図ることにより、安全・安心なまちに寄与します。					
実施主体		藤沢市消防本部消防総務課				(連絡先) 0466-25-1111	

事業名		防犯対策強化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-3-18-06-26-1	地域分権区分						
事業内容		市民と行政が連携し、防犯活動を推進することで、犯罪のない明るいまちづくりの推進を図る。 1. 街頭犯罪抑止環境整備(防犯カメラ設置補助・安全安心ステーション補助) 2. 各地区計画に沿った市民防犯活動の支援 3. 藤沢市防犯計画指針の策定(防犯ガイドラインを含む) 4. 携帯電話を活用した防犯対策システム運営・開発 5. 暴力追放推進協議会の活動支援 6. 安心みまもりステーション事業の実施及び防犯ブザー配付					
活動指標							
目標値	現状値		3年後目標値		6年後目標値		
実績値	H23		H24		H25		
役割期待		市民と市が協働し、また地域と全市の連携による防犯活動を推進します。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
		設置	供用	→	→	→	→
(地域)							
事業の成果		市民、地域と行政が協働・連携し、防犯活動を推進することで、犯罪のない明るいまちづくりの推進がなされます。					
実施主体		藤沢市市民自治部市民自治推進課				(連絡先) 0466-25-1111	

事業名 非常用自家発電設備整備事業							
体系コード		事業区分 まちづくり行政事業(全市)					
1-3-18-06-27-1		地域分権区分 地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容							
災害に強いまちづくりの推進と地域防災力の充実を図るため、災害時に電源の復旧が見込まれるまでの3日間程度稼働でき、拠点としての最低限の機能を維持できる非常用自家発電設備を各地区防災拠点本部に整備します。 1 受水槽ポンプ用電源(エレベーターを除く) 2 1F(事務所・ホール)の最低限の照明及びコンセント用電源 等							
活動指標		非常用自家発電設備の整備拠点数					
目標値		現状値	3拠点	3年後目標値	13拠点	6年後目標値	—
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		市は、災害時における地区防災拠点本部の使命・役割を果たすための整備を行います。					
事業スケジュール							
		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
		実施	→	整備完了			
(地域)		拠点運営	拠点運営	拠点運営			
事業の成果							
非常用自家発電設備を各地区防災拠点本部に整備することにより、地区防災拠点本部としての使命と役割を果たすことができ、市民の安全安心、被災時の生活の維持につながります。							
実施主体 藤沢市総務部災害対策課 (連絡先) 0466-25-1111							

事業名 建築物等防災対策事業							
体系コード		事業区分 まちづくり行政事業(全市)					
1-3-18-06-27-2		地域分権区分					
事業内容							
耐震促進計画の目標年度(平成27年度)までに、住宅、特定建築物、防災上重要な公共建築物の耐震化率を90%以上とするため、木造住宅耐震診断及び耐震改修工事や分譲マンション耐震診断の実施者に対して、経費の一部を補助し耐震化の促進を図ります。そのために、耐震化の重要性や地震に対する意識向上を図るための啓発活動を実施します。また、被災建築物の応急危険度判定を迅速かつ的確に実施するため、講習会等への職員派遣等を行い、被災時の建築物応急危険度判定実施本部業務、応急危険度判定士コーディネーター業務に対応できる職員の資質向上を図ります。 1 既存建築物耐震化事業 2 震後対策事業							
活動指標		住宅耐震化率					
目標値		現状値	72.5%	3年後目標値	80.0%	6年後目標値	90.0%
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		市は、災害時における地区防災拠点本部の使命・役割を果たすための整備を行います。					
事業スケジュール							
		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
		実施	→	→	→	→	→
(地域)							
事業の成果							
耐震化の重要性や地震に対する意識向上を図り、住宅の耐震化を促進。また、応急危険度判定士業務及び実施本部業務・コーディネーター業務に対する職員の資質を向上することにより、市民の安全安心、被災時の迅速な対応につながります。							
実施主体 藤沢市計画建築部建築指導課 (連絡先) 0466-25-1111							

事業名		土砂災害防止事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-3-18-06-27-3	地域分権区分						
事業内容	<p>災害に強いまちづくりの推進を図るため、県の土砂災害が生じる恐れのある区域の指定に基づき、危険の周知、警戒避難体制の整備、住宅等の新規立地を抑制、既存住宅の移転促進等の対策を推進し、土砂災害による人的被害等を防止します。関連して、急傾斜地の崩壊による災害を防止するため、県が行う急傾斜地崩壊防止工事等の事業に対し、県・市の負担協定に従い事業費の一部を負担します。また、大地震により大きな被害が生じる恐れのある大規模盛土造成地の被害を軽減するため、変動予測調査を行い、宅地ハザードマップを作成します。</p> <p>1 土砂災害警戒区域等の指定 2 造成宅地防災区域の指定</p>						
	活動指標	土砂災害警戒区域の指定(進捗)率					
	目標値	現状値	10%	3年後目標値	50%	6年後目標値	100%
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、県と連携して危険箇所、避難体制等の情報提供を行うことにより、災害時の被害を軽減するための支援を行います。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	(市域全体)						
	実施	→	→	→	→	→	
(地域)							
事業の成果	土砂災害による人的被害等の防止と造成宅地の減災対策が図られることにより、市民の安全安心、被災時の被害の軽減につながります。						
実施主体	藤沢市計画建築部開発業務課					(連絡先) 0466-25-1111	

事業名		消防自動車等整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-3-18-06-27-4	地域分権区分						
事業内容	<p>日常的に発生する災害、テロ行為等による特殊な災害、大規模な被害が発生する地震災害等、多様化する消防・救急諸情勢に応じ、あらゆる災害に対応するため、老朽化の著しい車両等の更新を実施します。</p>						
	活動指標	車両更新計画達成率(更新台数/更新計画台数)					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	消防責任、消防に要する対応は市の責務です。市民は、救急車等の適正利用等を進め、市民意識の向上と車両の長寿命化の抑えることが期待されます。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	(市域全体)						
	実施	実施	→	→	→	→	
(地域)							
事業の成果	消防・救急体制の充実・強化を図るとともに、近隣市町等との消防相互応援体制をより強固し、災害連携活動を実施することにより、万全な体制が確保され災害時における被害を軽減でき、市民生活の安定を図り、「市民が不安なく暮らせるまち」「災害に強いまちづくり」が推進されます。						
実施主体	藤沢市消防本部警防課					(連絡先) 0466-25-1111	

事業名		消防水利整備関係事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-3-18-06-27-5	地域分権区分						
事業内容	<p>市内の水利が充足していない地域の公共用地に、計画的に防火水槽40tを火災防御、震災対策用として整備します。また、地勢や立地上火災防御が困難な江の島について、屋外消火栓、小型動力ポンプの再整備を実施するとともに、江の島サムエルコッキング苑前広場にある防火水槽2基による消火活動を維持するため、ポンプ置場の建替を実施します。</p> <p>1 防火水槽の新設 2 江の島屋外消火栓再整備 3 小型動力ポンプの再整備 4 江の島サムエルコッキング苑前消防ポンプ置場の建替</p>						
活動指標	防火水槽新設設置数(公設40t以上防火水槽)						
目標値	現状値	588基	3年後目標値	591基	6年後目標値	593基	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	公設防火水槽の設置・整備については、市が行います。併せて民間では、開発に伴う民間による防火水槽の設置も推進します。						
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期		
(市域全体)	H23	H24	H25				
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
事業の成果	災害時の初期対応能力の向上が図られることにより、市民の安全安心、被災時の被害の軽減につながります。						
実施主体	藤沢市消防本部警防課					(連絡先) 0466-25-1111	

事業名		プレジャーボート対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-3-18-06-28-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>境川のプレジャーボート等の不法係留船は、洪水の流下の阻害等の治水上の支障のほか、騒音の発生や景観の阻害等様々な面で河川管理及び沿岸住民の生活に支障を引き起こすため、河川の保護等を推進する必要があります。そのため、神奈川県が実施するプレジャーボート対策への要望を行います。</p>						
活動指標	暫定係留船舶数						
目標値	現状値	221隻	3年後目標値	0隻	6年後目標値	0隻	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	事業の実施主体は神奈川県ですが、地域での声をまとめ、提案等を含めて市が、県に要望します。						
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期		
(市域全体)	H23	H24	H25				
(地域)	要望・実施	→	→	→	→	→	
事業の成果	神奈川県がプレジャーボート対策の推進を支援することにより、台風や津波等による被害の軽減が図られます。						
実施主体	藤沢市計画建築部建設総務課					(連絡先) 0466-25-1111	

事業名		河川治水対策促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-3-18-06-28-2	地域分権区分						
事業内容	<p>都市化の進展やゲリラ豪雨の頻発等による浸水被害から市民を守り、安全・安心な都市基盤・都市環境づくりを推進するため、神奈川県が策定した「かながわの川づくり計画」に基づき、神奈川県、流域自治体と連携して、河川氾濫を防止する都市河川重点整備計画(新セイフティリバー)事業を促進し、また河川流域における流出抑制対策を進めます。</p> <p>1 河川改修事業等の促進 2 総合治水対策等の推進</p>						
活動指標	洪水調節施設整備箇所						
目標値	現状値	1箇所	3年後目標値	2箇所	6年後目標値	3箇所	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	市は、流域自治体と連携し、神奈川県との協議、調整を進めます。						
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期		
(市域全体)	H23	H24	H25				
(地域)	協議・調整	→	→	→	→	→	
事業の成果	河川改修事業の促進と総合治水対策等に関わる諸計画の推進により、治水安全度が高まり、市民生活の安全・安心度が向上します。						
実施主体	藤沢市土木部土木経営課					(連絡先) 0466-25-1111	

事業名		下水道事業(浸水対策)(特別会計)					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-3-18-06-28-3	地域分権区分						
事業内容	<p>安全・安心な都市基盤・都市環境づくりの推進と安全安心なまちづくりへの貢献を図るため、近年頻発するゲリラ豪雨等による浸水被害に対し、被害発生地区における雨水管や貯留管等の整備、及び市民の防災・避難活動を支援する自助対策促進等による総合的な浸水対策事業を実施します。</p> <p>1 浸水対策施設整備事業 2 雨水流出抑制施設設置促進事業 3 浸水等情報(内水ハザードマップ)の提供</p>						
活動指標	対策実施箇所(15排水区)						
目標値	現状値	7排水区	3年後目標値	8排水区	6年後目標値	10排水区	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	市は、貯留管及び雨水幹線等の施設整備を実施します。						
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期		
(市域全体)	H23	H24	H25				
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
事業の成果	貯留管、雨水幹線、雨水貯留浸透施設等の整備により、浸水被害の軽減や治水安全度が向上します。また、浸水想定や避難関連情報を把握することで、地域住民の防災意識の向上及び豪雨時における避難活動の円滑化が図られ、市民生活の安全・安心度が向上します。						
実施主体	藤沢市土木部土木経営課					(連絡先) 0466-25-1111	

事業名 滝川改修事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-28-4	地域分権区分					
事業内容	安全・安心な都市基盤・都市環境づくりの推進を図るため、河川改修事業を実施します。準用河川滝川流域における水害を防止するため、3年に一度の降雨(時間雨量50mm)に対応できる整備として、平成28年度までに未改修区間の基本計画を策定し、事業化を進めます。					
活動指標	基本計画策定の進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	30%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、下水道事業者として、計画的な整備を推進します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
	計画策定	→	→	→	施工	施工
(地域)						
事業の成果	未改修区間の治水安全度を向上することにより、流域市民を水害から守る安全・安心な都市基盤・都市環境づくりが計画的に進められます。					
実施主体	藤沢市土木部下水道整備課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名 白旗川改修事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-28-5	地域分権区分					
事業内容	安全・安心な都市基盤・都市環境づくりの推進を図るため、河川改修事業を実施します。準用河川白旗川流域における水害を防止し、流域市民の生命・財産を守るため、実施計画の策定及び計画断面への護岸改修工事を実施し、河川改修事業を進めます。					
活動指標	河川改修率					
目標値	現状値	57%	3年後目標値	59%	6年後目標値	63%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、下水道事業者として、計画的な整備を推進します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
	施工	→	→	→	→	→
(地域)						
事業の成果	未改修区間の治水安全度を向上することにより、流域市民を水害から守る安全・安心な都市基盤・都市環境づくりが計画的に進められます。					
実施主体	藤沢市土木部下水道整備課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名		一色川改修事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-3-18-06-28-6	地域分権区分						
事業内容	安全・安心な都市基盤・都市環境づくりの推進を図るため、河川改修事業を実施します。準用河川一色川流域における水害を防止し、流域市民の生命・財産を守るため、改修計画の策定、用地取得等を実施し、河川改修事業を進めます。						
活動指標	実施計画策定の進捗率						
目標値	現状値	0%	3年後目標値	50%	6年後目標値	100%	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	市は、下水道事業者として、計画的な整備を推進します。						
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期		
(市域全体)	H23	H24	H25	→			
(地域)	計画策定	→	→	→	→	施工	
事業の成果	未改修区間の治水安全度を向上することにより、流域市民を水害から守る安全・安心な都市基盤・都市環境づくりが計画的に進められます。						
実施主体	藤沢市土木部下水道整備課				(連絡先) 0466-25-1111		




事業名		部隊新設事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-3-18-06-28-7	地域分権区分						
事業内容	消防署所新築・改築整備事業と連動し、消防隊や救急隊の増隊、及び災害事象(地域消防防災力の向上と地域によって相違する災害様態等)に対応した新たな部隊(特殊災害対応部隊・機能別消防団などを含む消防団部隊)の新設を検討、計画します。 1 六会出張所救急隊配置 2 遠藤方面出張所消防隊・救急隊配置						
活動指標	部隊整備実施数						
目標値	現状値	0部隊	3年後目標値	0部隊	6年後目標値	1部隊	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	市は、火災、救急時等における使命・役割を果たすための整備を行います。						
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期		
(市域全体)	H23	H24	H25	→			
(地域)	検討	→	調整	整備	→	→	
事業の成果	消防隊、救急隊の到着時間が遅い地域に部隊を配置することにより、初動体制の確保及び市内全体の消防力、救急体制の充実強化を図ることにより、市民の生命及び財産を守ることにつながります。						
実施主体	藤沢市消防本部消防総務課				(連絡先) 0466-25-1111		

事業名 消防救急基地局無線デジタル化事業							
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-28-8		地域分権区分					
事業内容		消防救急無線デジタル化の無線整備(共通波・活動波)について、神奈川県整備計画に基づき各県内自治体と調整を行いながら、共同整備を進めます。平成27年度の運用開始を目途に事業を推進します。 1 共通波整備 横浜市が整備主体となり県下26市町が共同で整備 2 活動波整備 市の独自の情報網として同時整備					
活動指標		無線デジタル化整備計画の達成率					
目標値		現状値	20%	3年後目標値	80%	6年後目標値	100%
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		県内他自治体と共同で、広域的に整備します。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
		実施	→	→	→	→	→
(地域)							
事業の成果		患者の傷病情報等の伝送を行う際などに、個人情報の保護の観点から通信の秘匿性向上が図れるデジタル化は効果的であるとともに、データ伝送による確実かつ効率的な災害活動の支援により、市民が安心して暮らせるまちに寄与します。					
実施主体		藤沢市消防本部消防総務課				(連絡先) 0466-25-1111	

事業名 消防無線等整備事業							
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-28-9		地域分権区分					
事業内容		国の法改正により、消防・救急用無線機(署活動用無線機を除く。)のデジタル移行が義務づけられ、県内共通波の基地局整備を県下合同で実施するのに合わせて、移動局の無線機の整備を進めます。					
活動指標		消防・救急デジタル無線機更新台数					
目標値		現状値	0台	3年後目標値	0台	6年後目標値	278台
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		市は、法改正に伴う整備を図り、市民サービス維持向上の役割を担います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
		協議・調整	→	→	整備・運用	→	→
(地域)							
事業の成果		無線交信内容について、容易に傍受できなくなることから、プライバシーの確保に寄与するとともに、広域災害時の連携が強化され、安全・安心なまちに寄与します。					
実施主体		藤沢市消防本部通信指令課				(連絡先) 0466-25-1111	

事業名 柄沢特定土地区画整理事業(特別会計)							
体系コード		事業区分 まちづくり行政事業(全市)					
1-3-18-06-28-10		地域分権区分					
事業内容		安全・安心な都市基盤・都市環境づくりの推進を図るため、地域住民との連携・協働によってまちづくりを進めます。土地区画整理により、道路、公園、上下水道などの新設及び改善を行い、良好な居住環境を総合的に広範囲に整備します。					
活動指標		事業進捗度					
目標値		現状値	88%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		市は、地域と協働して、事業効果についての評価や事業の進め方の改善などを検討し、更なる事業効率の向上を図ります。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
		実施	→	→			
(地域)							
事業の成果		市は、土地区画整理事業を実施することにより、災害に強い安心安全な市街地形成に寄与します。					
実施主体		藤沢市まちづくり推進部村岡地区整備事務所 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名 柄沢特定土地区画整理事業関連調整池建設事業							
体系コード		事業区分 まちづくり行政事業(全市)					
1-3-18-06-28-11		地域分権区分					
事業内容		安全・安心な都市基盤・都市環境づくりの推進を図るため、宮ノ下公園内(15491㎡)に公園の兼用工作物として調整池を設置します。環境影響予測評価に基づき、豪雨時の雨水流出を抑制するために調整池を設置します。					
活動指標		工事の進捗状況					
目標値		現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		市は、土地区画整理事業を実施することにより、災害に強い安心安全な市街地形成に寄与します。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
		工事	→	→			
(地域)							
事業の成果		調整池を整備することによって、豪雨時に河川へ放流される雨水排水量を抑えることで、河川下流域における水害の発生を抑制し、安全・安心なまちの形成に寄与します。					
実施主体		藤沢市まちづくり推進部まちづくりみどり推進課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名							北部第二(三地区)土地区画整理事業隣接地調整池建設事業							
体系コード			事業区分		まちづくり行政事業(全市)									
1-3-18-06-28-12			地域分権区分											
事業内容							安全で快適な地域まちづくりの推進のため、産業と住宅が共存できる土地利用を図り、都市計画道路等の整備推進による交通体系の確立及び公園・下水道等の都市基盤施設を整備する北部第二(三地区)土地区画整理事業において、事業隣接地に調整池を建設します。							
活動指標							工事の進捗状況							
目標値			現状値		0%		3年後目標値		0%		6年後目標値		20%	
実績値			H23		H24		H25							
役割期待							市は、土地区画整理事業を実施することにより、災害に強い安心安全な市街地形成に寄与します。設置箇所、施工方法については神奈川県総合治水対策事業と関連してくることから、神奈川県と協議しながら検討を進めます。							
事業スケジュール							第1期		第2期		第3期		第4期	
(市域全体)			H23		H24		H25							
														
(地域)			協議・調整		工事		→		→					
事業の成果							調整池を整備することによって、豪雨時に河川へ放流される雨水排水量を抑えることで、河川下流域における水害の発生を抑制し、安全・安心なまちの形成に寄与します。							
実施主体							藤沢市まちづくり推進部まちづくりみどり推進課				(連絡先) 0466-25-1111			

事業名							消防広域化推進事業							
体系コード			事業区分		まちづくり行政事業(全市)									
1-3-18-06-29-1			地域分権区分											
事業内容							効率的な消防体制の充実強化による住民サービスの一層の向上を図るため、藤沢市、鎌倉市、茅ヶ崎市、寒川町の3市1町において、将来の消防の広域化及び広域連携等のあり方、相互応援協定等の強化、消防救急無線のデジタル化等の対応、指令室の共同運用等について検討を進めます。							
活動指標							広域化検討の進捗度							
目標値			現状値		5%		3年後目標値		50%		6年後目標値		100%	
実績値			H23		H24		H25							
役割期待							市は、近隣市町と消防相互応援体制の更なる強化を図り、消防活動の機能向上の役割を担います。							
事業スケジュール							第1期		第2期		第3期		第4期	
(市域全体)			H23		H24		H25							
														
(地域)			検討・協議		→		→		再整備・運用		運用		→	
事業の成果							広域化による3市1町の消防体制強化及び消防施設等の充実整備を進めることにより、自治体の行政運営の効率化及び住民の安全・安心を支える基盤の強化を図り、安全・安心なまちの形成に寄与します。							
実施主体							藤沢市消防本部消防総務課				(連絡先) 0466-25-1111			

都市ビジョン2
地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性

4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者等も積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

24 挨拶や声かけによる市民同士のコミュニケーションがとれていること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市では、2007年（平成19年）に「人権施策推進方針」を定め、お互いの人権を尊重し、違いを認め合い、人を思いやるころをもつて、ともに生きる社会を築くことをめざしています。
- ② 藤沢市と茅ヶ崎市、寒川町は、湘南広域都市行政協議会に人権・男女共同参画連携推進会議を置き、同じ生活圏域の中での特性を生かした広域連携による研修会やキャンペーン等に取り組んでいます。
- ③ 藤沢市では「ふじさわ男女共同参画プラン2020」を策定し、男女がともに担う社会づくりとそのための環境整備を推進しています。

【戦略目標】

07 一人ひとりの個性を尊重し認め合う、心の通うまち

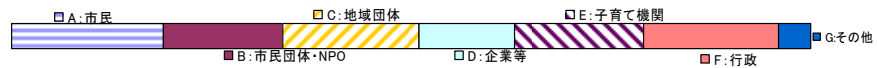
【成果指標】

- ① 個性が尊重されていると感じている市民の割合
- ② 近所で挨拶や声かけをする人の割合

【現状値】 ①28% ②56%

【めざそう値】 3年後：①40% ②65% 6年後：①50% ②75%

【役割の担い手】 ①A:19% B:15% C:17% D:12% E:16% F:17% G:4%



②A:22% B:13% C:19% D:10% E:20% F:12% G:4%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-30》 人権を尊重する社会の推進

＜成果の視点＞ 差別や偏見のない、互いに理解し、尊重される地域社会になること

〔主要な指標〕 人権出前講座の実施回数と参加者数

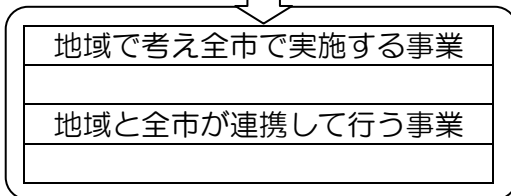
《政策-31》 男女共同参画ネットワークの充実

＜成果の視点＞ 男女共同参画の場がひろがり、さまざまな場面で協力して活動がなされること

〔主要な指標〕 藤沢市における審議会等の女性登用比率

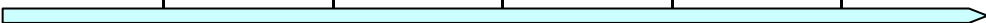
戦略目標に関するまちづくり事業の状況


まちづくり 地域事業	まちづくり 行政事業 (地区)	まちづくり 行政事業 (全市)	まちづくり 市民連携 事業	まちづくり 公民連携 事業	まちづくり 広域連携 事業

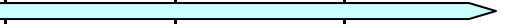


事業名	人権啓発関係事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-4-24-07-30-1	地域分権区分					
事業内容	地域密着型啓発の推進を図るため人権出前講座を実施します。また、地域企業における人権啓発を支援し、広域的な人権啓発の取組みを強化するため、湘南都市広域行政協議会、横須賀・湘南人権啓発活動地域ネットワーク協議会との連携を推進します。					
活動指標	人権に関する研修会参加者数					
目標値	現状値	732人	3年後目標値	800人	6年後目標値	1000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	学校、企業、経済団体及び人権擁護委員等と連携した啓発活動の実施及び啓発講演会等の企画・運営を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
事業の成果	人権施策推進指針の基本理念である「人権を大切にし、人権文化を育むまちづくり」の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市経営企画部共生社会推進課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	犯罪被害者支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-4-24-07-30-2	地域分権区分					
事業内容	地域密着型啓発の推進を図るため、人権出前講座による犯罪被害者等への理解促進を行います。また、広域連携事業として2市1町等周辺自治体との連携による人権啓発に取り組み、県との連携において、犯罪被害者等に対する市営住宅等の優先入居等を実施します。					
活動指標	人権に関する研修会参加者数					
目標値	現状値	732人	3年後目標値	800人	6年後目標値	1000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	「かながわ犯罪被害者サポートステーション」及び周辺自治体と連携した犯罪被害者への支援を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	検討	実施	検討	調整	見直し
(地域)						
事業の成果	人権施策推進指針の基本理念である「人権を大切にし、人権文化を育むまちづくり」の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市経営企画部共生社会推進課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	特定非営利活動法人さんわーくかぐや					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-4-24-07-30-3	地域分権区分					
事業内容	<p>アート活動や畑作業を通じて当施設利用者の自立促進と社会スキルの向上を図ります。畑仕事やアート活動を通して様々な人が施設へ集い楽しみ、自然と障害を持った方とふれあい、理解を深めます。障がいのある方々も社会の一環として地域の中で活動し、時に地域のイベントのお手伝いをし(湘南台七夕まつり、湘南台公民館祭り、みんなの消費生活展、ふじさわ市場ん！わっぽ、茅ヶ崎大健康まつり、キャンドルナイト湘南台など)、町興しイベント「まちあそ美」全面協力、障がい者アートとノーマライゼーションの啓蒙活動として「ハーモニー展」を行っています。</p>					
活動指標						
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	月に1回プロのアーティストを招いた講習会、年に1回お餅つきの開催。美化ネット藤沢へ参加し、担当地域の道路清掃活動を日常的に行っています。また、ハーモニー展、まちあそ美などアートイベントへの協力や作品の出展。地域行事への資材提携や出展などでの協力。地域福祉作業所の見学や招いての交流などを行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	年齢や性別などを超えた様々な人が参加するコミュニティ作りから、地域の学校などへの声かけによる学校以外のコミュニティ参加を促します。また、地元商店と地元アーティストの連携による魅力あるお店作り、福祉作業所の仕事を見直しにより、横浜や東京などからも人が来る街にします。					
実施主体	特定非営利活動法人さんわーくかぐや					(連絡先) 0466-77-8610

事業名	男女共同参画事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-4-24-07-31-1	地域分権区分					
事業内容	<p>男女共同参画プランの総合的推進を図り、市民等への意識啓発及び情報提供を行います。</p> <p>具体的には、ふじさわ男女共同参画推進協議会の運営及びプランの進行管理を行い、審議会等の女性登用状況調査を実施します。また、男女共同参画ネットワーク協力員事業の推進と地域企業及び医療機関との連携により、DV防止運動の強化を行います。</p>					
活動指標	本市独自の審議会等の女性の登用比率					
目標値	現状値	39.2%	3年後目標値	40%	6年後目標値	42%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	企業及び経済団体への男女共同参画推進についての働きかけ及び講演会等啓発活動の企画・運営を行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	男女共同参画プランの推進及び、地域との連携と啓発促進により、「藤沢らしさ」である市民力・地域力を活かし、男女共同参画社会の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市経営企画部共生社会推進課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	ワーク・ライフ・バランス事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-4-24-07-31-2	地域分権区分					
事業内容	男女共同参画社会の推進の観点から、企業・経済団体とのワーク・ライフ・バランスについての連携とその強化をし、県及び2市1町等と広域連携事業を行います。					
活動指標	本市独自の審議会等の女性の登用比率					
目標値	現状値	39.2%	3年後目標値	40%	6年後目標値	42%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	企業及び経済団体へのワーク・ライフ・バランスについての働きかけ、講演会等啓発活動の企画・運営を行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、人生の各段階に応じた多様な生き方の選択ができるようになります。					
実施主体	藤沢市経営企画部共生社会推進課				(連絡先) 0466-25-1111	

ふじさわ未来課題

34 地域で支え合い暮らせる環境であること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市には現在、約 6,000 人の外国人の方が住んでいます。
- ② 藤沢市には、13 の公民館と 2 つの分館があります。また、小学校区に 1 カ所以上、計 41 箇所地域の市民の家があります。
- ③ 市内には 475 の自治会（町内会）があり、平均で 290 世帯が加入しています。藤沢市の自治会加入率は 80.2% です。（2009 年（平成 21 年）9 月 1 日現在）
- ④ 藤沢市市民活動推進センターには、425 団体の市民活動団体、NPO 法人が登録しています。（2010 年（平成 22 年）12 月 14 日現在）



藤沢市市民活動推進センターホームページ <http://npocafe.f-npon.jp/>

～NPOとは～

「NPO (Non Profit Organization)」とは、様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し収益を分配することを目的としない団体の総称です。

したがって、収益を目的とする事業を行うこと自体は認められますが、事業で得た収益は、様々な社会貢献活動に充てることになります。

このうち「特定非営利活動法人」とは、特定非営利活動促進法に基づき法人格¹を取得した法人です。

法人格の有無を問わず、様々な分野（福祉、教育・文化、まちづくり、環境、国際協力など）で、社会の多様化したニーズに応える重要な役割を果たすことが期待されています。（内閣府NPOホームページより）

¹法人格：個人以外で権利や義務の主体となり得るもの

【戦略目標】

08 地域で支えあう共生するまち

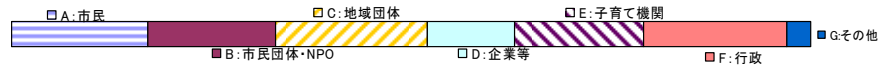
【成果指標】

- ① 地域に支えられていると実感する人の割合
- ② 普段、近隣や地域の方とお付き合いする高齢者の割合

【現状値】 ①27% ②50%

【めざそう値】 3年後：①40% ②60% 6年後：①50% ②70%

【役割の担い手】 ①A:17% B:16% C:19% D:11% E:16% F:18% G:3%



②A:21% B:16% C:21% D:10% E:12% F:17% G:3%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-32》 自治会活動等の地域コミュニティ活動の育成、支援

＜成果の視点＞ 地域でのコミュニティ活動が盛んであること

〔主要な指標〕 自治会加入率

《政策-33》 地域で支えあうためのネットワークづくりの推進

＜成果の視点＞ 地域で支え合うためのしくみが整っていること

〔主要な指標〕 ふじさわボランティアセンター登録者数

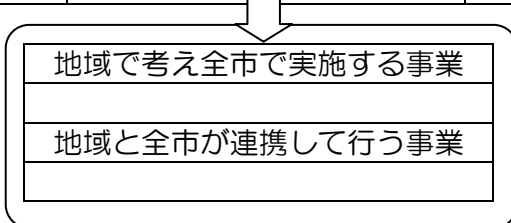
《政策-34》 多様な主体による生涯学習の推進とネットワークの構築

＜成果の視点＞ 地域と地球の自然を大切に共有できるための学びの環境があること

〔主要な指標〕 公民館のサークル登録団体数

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

まちづくり 地域事業	まちづくり 行政事業 (地区)	まちづくり 行政事業 (全市)	まちづくり 市民連携 事業	まちづくり 公民連携 事業	まちづくり 広域連携 事業



事業名	多文化共生事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-4-34-08-32-1	地域分権区分					
事業内容	外国人市民アンケート調査を実施・分析することで、外国人市民の抱える課題等を整理し、充実した支援施策を実施します。また、外国人市民が地域住民と共生するための手段として「外国人市民との共生を考える市民の会」を開催し、外国人市民の意見等を聴取し、行政に反映させます。 更に、外国人市民を講師とした多文化共生セミナーを開催し、自国文化等を紹介するなど、外国人市民と日本人市民との交流を促進します。					
活動指標	外国人市民の会議への参加人数					
目標値	現状値	—	3年後目標値	12人	6年後目標値	20人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	開催にあたっての人員募集等の事務局としての役割、及び開催に係る事務を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	-----	→				
	検討・実施	実施	→	→	→	→
事業の成果	「藤沢市多文化共生のまちづくり指針」の基本目標である「生活支援とともに隣に住む人として国籍や民族・生活習慣の違いを認め合い、人権を尊重し、交流を深め、外国人市民と一般市民が『共に生きる』地域社会づくり」の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市経営企画部共生社会推進課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	地区集会所建設費等補助事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-4-34-08-32-2	地域分権区分					
事業内容	自治会・町内会が行う集会所(自治会館・町内会館)の新築、増改築、修繕及び用地の取得等に要する経費の一部を計画的に補助を行います。					
活動指標	補助金交付件数(新築・修繕)					
目標値	現状値	9件	3年後目標値	9件	6年後目標値	9件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域の活動に必要な施設である地区集会所を充実させることにより、自治会・町内会など地域主体の活動の推進を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	-----	→				
	評価	活用	→	→	→	→
事業の成果	地域住民の福祉と自治意識の向上に寄与します。					
実施主体	藤沢市市民自治部市民自治推進課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	善行地域コミュニティ活動事業用地等整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-4-34-08-32-3	地域分権区分					
事業内容	善行地区に地域コミュニティ活動事業を行うための用地等の整備事業を実施します。 高齢者の農業体験を始めとして地区内の市民が様々な地域活動に参加できる環境を整備し、地区内のコミュニティづくりの場、交流の場とするため、平成21年1月7日に藤沢市土地開発公社が先行取得した土地の買取を行うとともに、都市計画決定公園予定地との関係を含め、当該地周辺の金子の森緑地、保存樹林、及び生産緑地等との一体的保全・整備により、地区内の貴重な緑地の保全形成を図ります。					
活動指標	事業用地等の整備 進捗率					
目標値	現状値	0	3年後目標値	50	6年後目標値	100
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	善行地区地域経営会議との連携・協働による事業用地と周辺緑地等との一体的な整備計画の考え方や方向性の検討の支援、事業用地の取得、及び一体的整備を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討・実施	→	→	→		
事業の成果	地域主体のまちづくりの実現及び、地域コミュニティ活動の活発化、高齢者等の生きがいきづくり、また地区内の緑地の保全形成に寄与します。					
実施主体	藤沢市市民自治市民自治推進課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	地区ボランティアセンター事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-4-34-08-33-1	地域分権区分					
事業内容	ボランティア活動の拠点として地区ボランティアセンターの開設・運営経費の助成をし、設置箇所数の充実させ地域における相互扶助機能を高めます。					
活動指標	地区ボランティアセンター設置箇所数(箇所)					
目標値	現状値	6	3年後目標値	14	6年後目標値	14
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地区ボランティアセンター開設・運営経費の助成に係る予算策定を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	事務移譲		
事業の成果	「地域で支えあうためのネットワークづくり」及び「地域で支えあう共生するまちづくり」の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市保健福祉部保健医療福祉課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	介護ボランティアポイント制度事業(特別会計)					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-4-34-08-33-2	地域分権区分					
事業内容	65歳以上の元気な高齢者が施設において福祉ボランティア活動を行った際に、ポイントを付与し年間のポイント数に応じて最大5,000円までの支援金に転換して交付するボランティアポイントの運営をします。					
活動指標	ボランティア登録者数(人)					
目標値	現状値	95	3年後目標値	500	6年後目標値	700
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	ボランティアポイント運営およびポイント換金に係る予算について役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25	→		
(地域)	検証・実施	検証・実施	検証・実施	実施	→	→
事業の成果	施設でのボランティア活動を通じて元気な高齢者の介護予防と健康維持を図りながら、市民ボランティアの活性化と地域福祉のまちづくりの推進を図ることにより、地域で支えあうためのネットワークづくりの実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市保健福祉部保健医療福祉課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	文化と健康の2大事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-4-34-08-33-3	地域分権区分					
事業内容	福祉向上と親睦を図ることにより新しい知の創造や行動指針を共有するコミュニティ活動を促進することによって、文化的な活動によるつながりと、健康維持を実践します。					
活動指標						
目標値	現状値		3年後目標値		6年後目標値	
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	友人・知人のネットワーク、クラブやサークルなどの集まりから貴重な交流が出来、精神的及び肉体的な充足を得られます。当団体はそのコミュニティの機能を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25	→		
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	地区の誰もが参加できるように、ニュース情報を出し、広報周知活動が徹底されることにより、様々な人とのコミュニケーションが活発になります。					
実施主体	(社)神年協藤沢中央分会					(連絡先) 0466-81-0437

事業名	公民館市民運営事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-4-34-08-34-1	地域分権区分					
事業内容	<p>豊富な社会教育活動経験がある、または社会教育指導員・公民館体育指導員として公民館事業を十分に把握している地域の人材からなる市民運営団体に公民館運営業務を委託します。それにより、地域の実情に即した公民館運営を行います。</p> <p>平成22年度から湘南台公民館がモデル館として市民運営団体(湘南台公民館運営委員会)への業務委託を先行実施し、検証を行っており、平成23年度から市民センター併設公民館残り10館で市民運営移行を実施します。</p>					
活動指標	公民館事業への市民の参加率					
目標値	現状値	40%	3年後目標値	41%	6年後目標値	42%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	業務委託契約事務、契約に基づく運営の指導・検証、公民館運営審議会事務等を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	調整	実施	→	→	→	→
事業の成果	11公民館において、地域の特性や地域資源を活かした事業展開が可能になることで、「多様な主体による生涯学習の推進とネットワークの構築」と教育振興基本計画の基本方針「多様な学びのできる生涯学習社会」の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市生涯学習部生涯学習課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名	総合市民図書館市民運営事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-4-34-08-34-2	地域分権区分					
事業内容	<p>平成23年度より辻堂市民図書館の図書館サービス業務をNPO法人に業務委託します。管理業務、企画業務は総合市民図書館が担当します。「新しい公共」の手法により、従来の図書業務員を中心に結成されたNPO法人による「市民主体の図書館運営」を行い、サービスの更なる拡充とコスト削減をめざします。</p> <p>平成23年度に検証を行い、大きな課題がなければ、次年度以降に残りの2分館と総合市民図書館にも段階的にNPO法人による図書館運営を拡大していきます。</p>					
活動指標	年間貸出件数					
目標値	現状値	430万件	3年後目標値	445万件	6年後目標値	460万件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	行政は、図書館行政の方向性を示し、条件整備を行い、NPO法人を助言・評価する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	NPO法人による図書館運営は、従来の市民協働の実績の上に、今まで以上に市民参画が進み、市民(地域)に密着したレファレンス等、図書館サービスの更なる拡大・発展が図られるとともに、コスト削減を図ることができます。					
実施主体	藤沢市生涯学習部総合市民図書館 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名							南市民図書館改築事業							
体系コード			事業区分		まちづくり行政事業(全市)									
2-4-34-08-34-3			地域分権区分											
事業内容							老朽化の進んだ南市民図書館(1963年建設)を庁舎・市民会館などの公共施設再整備事業の中で建て替え、市民利用を促進します。							
活動指標							一日あたりの来館者数(人)							
目標値		現状値		1500		3年後目標値		5000		6年後目標値		5000		
実績値			H23			H24			H25					
役割期待							図書館行政の方向性を示し、条件整備を行い、NPO法人を助言・評価する役割を担います。							
事業スケジュール							第1期		第2期		第3期		第4期	
(市域全体)			H23		H24		H25							
(地域)														
			実施		→		→		→		→		→	
事業の成果							新生涯学習ふじさわプランの施策の柱「多様なニーズに応える学習空間の整備」の実現に寄与します。また、この図書館が整備されることで、市民は「学ぶ楽しさ」「知る喜び」「役立つ情報」「やすらぎ・ふれあい」「深い思索」を得ることができます。							
実施主体							藤沢市生涯学習部総合市民図書館				(連絡先) 0466-25-1111			

事業名														
体系コード			事業区分											
			地域分権区分											
事業内容														
活動指標														
目標値		現状値				3年後目標値				6年後目標値				
実績値			H23			H24			H25					
役割期待														
事業スケジュール							第1期		第2期		第3期		第4期	
(市域全体)			H23		H24		H25							
(地域)														
事業の成果														
実施主体							(連絡先)							

ふじさわ未来課題

32 人々が交流して、平和でぬくもりのある社会であること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市では核兵器のない平和な世界をめざして1982年（昭和52年）に「核兵器廃絶平和都市宣言」を施行しています。また、「藤沢市核兵器廃絶平和推進の基本に関する条例」を1995年（平成7年）に制定しています。
- ② 平和意識の高揚と相互理解の促進を目的とした平和学習・長崎派遣事業を市民との連携によって実施しています。
- ③ 2010年（平成22年）には、長崎市から頂いた被爆したクスノキを、平和の象徴として市民の皆様とともに育て、幾代にも平和が続くようにと願いを込めて植樹をしました。
- ④ 藤沢市の姉妹友好都市は、松本市（長崎県）、マイアミビーチ市（アメリカ合衆国フロリダ州）、昆明市（中華人民共和国雲南省）、ウィンザー市（カナダ オンタリオ州）、保寧市（大韓民国忠清南道）です。



この「ふじさわ未来課題」に関連する事業

【まちづくり市民連携事業】

公共交通機関では、多言語の表記を採用して、外国人にも分かりやすい情報の提供を行っています。



【戦略目標】

09 人々が交流して、平和でぬくもりのあるまち

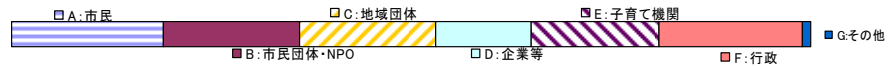
【成果指標】

- ① 日常生活において平和な社会を実感する人の割合
- ② 日常生活において外国の人たちと交流している人の割合

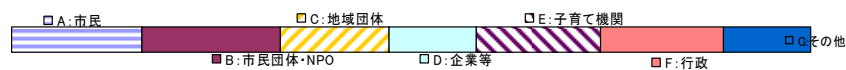
【現状値】 ①51% ②17%

【めざそう値】 3年後：①60% ②20% 6年後：①70% ②30%

【役割の担い手】 ①A:19% B:17% C:17% D:12% E:16% F:18% G:1%



②A:18% B:19% C:15% D:12% E:17% F:17% G:2%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-35》 多様な担い手との協働による国際交流の推進

＜成果の視点＞ さまざまな人が協力して、いろいろな国や文化、人との交流がなされること

〔主要な指標〕 国際交流事業への参加者数

《政策-36》 平和都市宣言に基づく平和事業の推進

＜成果の視点＞ 戦争やテロ等の不安がなく、平和なまちと世界であること

〔主要な指標〕 平和基金に寄付をされた方の数

《政策-37》 航空機騒音解消に向けた対策の推進

＜成果の視点＞ 航空機の騒音が軽減され、安心して穏やかなまちであること

〔主要な指標〕 70dB以上の騒音継続時間（1ヶ月平均）

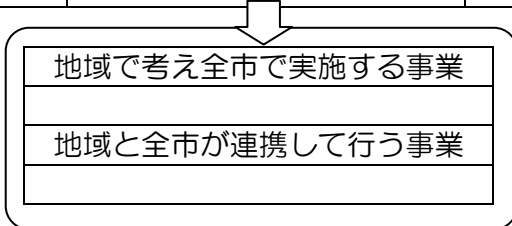
《政策-38》 県内自治体連携による基地対策の推進

＜成果の視点＞ 県内自治体と連携して基地の課題解消に向けて取り組んでいること

〔主要な指標〕 NLP（Night Landing Practice：夜間連続離着陸訓練）の年間回数

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

まちづくり 地域事業	まちづくり 行政事業 (地区)	まちづくり 行政事業 (全市)	まちづくり 市民連携 事業	まちづくり 公民連携 事業	まちづくり 広域連携 事業



事業名	都市親善事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-4-32-09-35-1	地域分権区分					
事業内容	<p>姉妹友好都市を中心に都市親善交流を行うことで、友好を深めるとともに国際相互理解を図るため、姉妹友好都市交流事業、目的別都市連携などを行います。</p> <p>具体的には、各年度毎に実施される姉妹都市との交流事業と共に、今後本市の国際政策を総合的、また、具体的に推進していく(仮称)国際交流協会、及び、これらの事業に携わる市民が集える(仮称)国際交流センターを設立します。</p>					
活動指標	姉妹都市との交流事業数					
目標値	現状値	8事業	3年後目標値	15事業	6年後目標値	20事業
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民・市民ボランティア・NPO・大学・企業等が民間主導で国際交流を行うための環境を整備します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
						
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	市民・市民ボランティア・NPO・大学・企業・地域と行政が協働・連携し、各主体の特性を活かした海外諸都市との都市間交流を活性化させ、新たな文化交流を行う国際色豊かな藤沢づくりに寄与します。					
実施主体	藤沢市市長室国際課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	「FAKTA JAPAN」事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-4-32-09-35-2	地域分権区分					
事業内容	<p>主に藤沢市に在住する方々を中心にした、国際NGOの活動を行います。インドネシア国ジャカルタ市の経済的貧しい人たちの支援活動(主に教育・経済的に学校に行けない文字の読み書きができない、四則計算ができない子供達への支援活動)をすること。この活動は多岐にわたりますが、実際に活動するインドネシア国ジャカルタの私たちのカウンターパートナーとなるの現地でのNGO「FAKTA」の資金的援助を行います。</p> <p>会員は約60名。年会費は3650円(1日10円のお金を貧しさで学校にいけない子供たちのために使います。)</p>					
活動指標						
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	インドネシア国ジャカルタ市のNGO「FAKTA」はジャカルタの現況の報告、NGO活動の報告、会計などの報告を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
						
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	会員の増加や中学生や高校生、大学生など中心としたスタディツアーの実施することにより、「平和で持続的な世界を生み出すこと」に寄与します。					
実施主体	FAKTA JAPAN					(連絡先) 0466-82-0290

事業名	「子育て講座(他言語で育てるコミュニケーション力)」事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-4-32-09-35-3	地域分権区分					
事業内容	<p>赤ちゃんから小学校低学年までの保護者、小学校高学年から高校生までの親子を対象に、実際に多言語で子育てをしている家族や留学生の体験をまじえながらの講座を実施します。</p> <p>ホームステイの受け入れ・親子で多言語で遊ぶ会『親子で遊ぼう！世界のことば』や国際理解授業；市内の小学校(高砂など)、また定例の多言語活動を藤沢・辻堂・湘南台など市内6箇所(各週1回)で行います。</p>					
活動指標						
目標値	現状値		3年後目標値		6年後目標値	
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	横浜国立大学の留学生にホームステイの体験を紹介してもらいます。また、赤ちゃんことばの研究をしているグループにも協力してもらいます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	いろいろなことばや交流に目を向けることで子育てに新しい視点を取り入れることにより、藤沢を訪れる外国の人たち、在住の人達と楽しく交流できる家族の増加が期待できます。					
実施主体	ヒッポファミリークラブ					(連絡先) 0466-23-8606

事業名	平和都市宣言推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-4-32-09-36-1	地域分権区分					
事業内容	<p>原爆による悲劇が、二度とくりかえされてはならないとの思いから、「藤沢市核兵器廃絶平和都市宣言」等に基づき、市民、NPO、ボランティア活動団体等が連携し、長年にわたり核兵器のない平和な社会の実現に向けた地道な活動を展開しております。</p> <p>平和交流学習会・平和学習・長崎派遣事業・地域平和推進事業・平和関連施設の見学・平和に関する展示や日本非核宣言自治体協議会役員会・総会への出席、2020年までの核兵器廃絶に向けて、他自治体との情報交換及び連携強化を図ります。</p>					
活動指標	平和事業に参加した延べ市民数					
目標値	現状値	7,210人	3年後目標値	7,500人	6年後目標値	8,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	日本非核宣言自治体協議会及び平和市長会議加盟自治体との連携強化と市民主体で開催される平和活動のサポートを行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	核兵器廃絶及び恒久平和の実現に向けて、草の根平和活動を市と市民が協働で取り組むことにより、核兵器のない平和な世界に向けた活動の輪を大きく広げることができます。					
実施主体	藤沢市経営企画部共生社会推進課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	「核兵器廃絶、被爆者連帯、被爆者援護、非核三原則厳守」事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-4-32-09-36-2	地域分権区分					
事業内容	被爆の実相、核兵器の非人道性と危険性を広く市民に伝え、核兵器廃絶、被爆者連帯、被爆者援護、非核三原則完全実施につながる様々な運動を行います。 また、原水爆禁止世界大会及び3.1ピキニデー集会の参加者報告会の開催や署名活動、街頭宣伝を実施します。					
活動指標						
目標値	現状値		3年後目標値		6年後目標値	
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	核兵器廃絶を願う団体は、定期的に核兵器廃絶署名、原爆パネル展、街頭宣伝を行います。また、平和行進への参加は行政の支援を受けて行います。更に、核兵器に関わる学習会等の開催においては他団体と協働しこれを実施します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
事業の成果	被爆の実相、核兵器の非人道性と危険性、核兵器廃絶の世界情勢を伝えることによって、平和都市宣言をアピールします。					
実施主体	原水爆禁止藤沢市協議会					(連絡先)

事業名	航空機騒音対策推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-4-32-09-37-1	地域分権区分					
事業内容	航空機騒音の苦痛を強いられている地域住民の声を吸い上げるにより、他自治体と連携して取り組む住宅防音区域の拡大等における基地問題解決に向けた国への働きかけを推進します。					
活動指標	航空機騒音苦情対応件数					
目標値	現状値	269件	3年後目標値	200件	6年後目標値	150件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	協議会員自治体と連携を図り、地域住民の声を吸い上げて、政府関係機関等への要請行動を行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
事業の成果	基本構想に定めた将来像『「私たちの政府」が創る、いまでも未来も住み続けたいまち「湘南ふじさわ」』の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市経営企画部共生社会推進課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	基地対策連携推進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
2-4-32-09-38-1	地域分権区分						
事業内容	<p>政府関係機関等へ、空母艦載機の移駐を2014年までに確実に実施すること、及び移駐までの間の航空機騒音等の問題解決に積極的に取り組むことを要請し、各協議会会員自治体との情報交換及び相互協力により、基地をめぐる諸問題の解決を図ります。</p> <p>また、庁内はもとより、市民センター・公民館及び地域経営会議を中心に、航空機騒音の苦痛を強いられている地域住民の声を吸い上げるにより、住宅防音区域の拡大等に向け対策を講じます。</p>						
	活動指標	防衛省・外務省への要請行動件数					
	目標値	現状値	24件	3年後目標値	20件	6年後目標値	16件
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	協議会会員自治体と連携を図り、地域住民の声を吸い上げて、政府関係機関等への要請行動を行います。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
事業の成果	基本構想に定めた将来像『「私たちの政府」が創る、いまでも未来も住み続けたいまち「湘南ふじさわ」』の実現に寄与します。						
実施主体	藤沢市経営企画部共生社会推進課					(連絡先) 0466-25-1111	

都市ビジョン2 地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性

5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境，景観，歴史・文化資産等，先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ，次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め，地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

ふじさわ未来課題

37 市民，地域，行政が協力し，快適な生活が実現していること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市では，「藤沢市ビオトープネットワーク基本計画」を策定し，藤沢らしい生物とのふれあいが市域全体で展開されるようビオトープ空間とそのネットワークの構成などについて検討しています。
- ② 市内には，特別緑地保全地区が 35.8ha（東京ドーム約 7.6 個分），保存樹林は 126.3ha（東京ドーム約 27 個分）あります。（2010 年（平成 22 年）3 月 31 日現在）
- ③ 市内の 1 人あたりの公園は 5.39 m²です。
- ④ 藤沢市では，景観条例を 1989 年（平成元年）に制定し，特別景観形成地区を 2 地区，景観形成地区を 3 地区指定しています。
- ⑤ 2010 年（平成 22 年）には「わがまちふじさわ景観ベストテン」を実施しました。



(2010)
大別してのいさかい・やわらかいさかい・きつていさかい
わがまち景観ベストテン
ふじさわ
藤沢市

この「ふじさわ未来課題」に関連する事業

【まちづくり市民連携事業】

市内の企業では，次のような取り組みが行なわれています。（藤沢市商業振興の規定による地域貢献計画より）

- ① 建物の色などに関する景観への配慮 コジマ NEW 藤沢店，スーパーセンタートライアル藤沢羽鳥店
- ② 店舗周辺の清掃等 ルームズ大正堂つじどう店，ミスターマックス湘南藤沢ショッピングセンター，文具スーパー事務キチ，平井家具湘南台本店，パシオス藤沢店，湘南台ウエストプラザ，ケーヨーデイツー藤沢石川店・湘南台店，株式会社ダイエー湘南台店，株式会社小田急百貨店藤沢店，オーケーディスカウントセンター藤沢店，イトーヨーカドー藤沢店・湘南台店，FUJI 鶴沼店・善行店，CDビル・ダイヤモンドビル・フジサワ名店ビル，（株）良品計画無印良品 藤沢，アルペン藤沢菖蒲沢店，株式会社ビックカメラ藤沢店，藤沢オーパ，そうてつローゼン湘南台店，株式会社さいか屋藤沢店，イオン株式会社ジャスコ藤沢店，湘南とうきゅう，藤沢プラザ，つるかめランド六会店，株式会社ヨークマート六会店，ホテル法華クラブ藤沢

【戦略目標】

10 豊かな自然環境と地域資源を守り発展させ、次世代に継承するまち

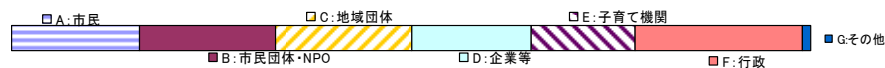
【成果指標】

- ① 自然環境が豊かであると感じる人の割合
- ② 湘南海岸や川など自然景観の保全への満足度
- ③ 斜面緑地や樹木など緑の保全への満足度

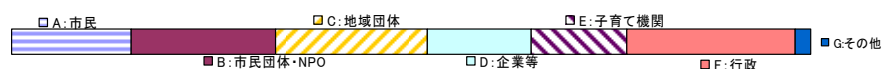
【現状値】 ①54% ②39% ③37%

【めざそう値】 3年後：①60% ②50% ③45% 6年後：①70% ②55% ③50%

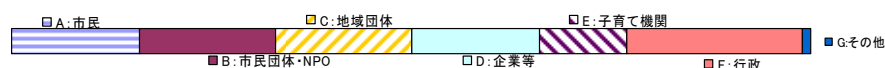
【役割の担い手】 ①A:16% B:17% C:17% D:15% E:13% F:21% G:1%



②A:15% B:18% C:19% D:13% E:12% F:21% G:2%



③A:16% B:17% C:17% D:16% E:11% F:22% G:1%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策－39》 湘南海岸の美化と維持・保全の推進

＜成果の視点＞ 世界に誇れる湘南海岸であること

〔主要な指標〕

《政策－40》 自然豊かな田園環境の維持・保全の推進

＜成果の視点＞ 田園が維持・保全され、緑と治水、食の恵みの環境があること

〔主要な指標〕 耕作放棄地の面積

《政策－41》 多様な動植物の生息・生育環境の保全・再生の推進

＜成果の視点＞ 生物多様性の維持された、海、川、みどりの生息・生育環境があること

〔主要な指標〕 ビオトープの数

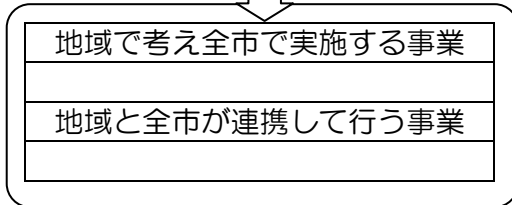
《政策－42》 谷戸や緑地等自然環境の保全・再生の推進

＜成果の視点＞ 三大谷戸や緑地等が大切に守られていること

〔主要な指標〕 三大谷戸の整備進捗率

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

まちづくり 地域事業	まちづくり 行政事業 (地区)	まちづくり 行政事業 (全市)	まちづくり 市民連携 事業	まちづくり 公民連携 事業	まちづくり 広域連携 事業



事業名		養浜対策事業									
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(全市)							
2-5-37-10-39-1		地域分権区分									
事業内容		養浜対策は県が実施すべき事業ではありますが、県が平成22年度までに策定予定の養浜計画を、市としても県と更に連携強化して取り組み、藤沢海岸の養浜の必要性を要望していきます。また、観光課と連携して、藤沢市の海岸浸食の緊急時対応マニュアルを作成し、観光資源の保護と育成に努めていきます。									
活動指標		①藤沢海岸養浜計画の策定進捗率(県事業) ②緊急時対応マニュアル作成進捗率									
目標値		現状値		①70%②10%		3年後目標値		①100%②100%		6年後目標値	
実績値		H23			H24			H25			
役割期待		①藤沢海岸の養浜対策は県が実施する事業であるが、県と連携しての役割を担います。 ②台風等の緊急時の海岸浸食対応については、県と連携しての役割を担います。									
事業スケジュール		第1期			第2期		第3期		第4期		
(市域全体)		H23		H24		H25					
(地域)		準備		実施		→		→		→	
事業の成果		湘南の顔になる江の島・湘南海岸の観光資源の保護等が図られると共に、観光シーズン等の緊急浸食時の影響の軽減することによって、観光資源の保護と育成(県や関係自治体との連携による養浜対策の実施)を推進します。									
実施主体		藤沢市計画建築部建設総務課・観光課 (連絡先) 0466-25-1111									

事業名		海浜植物の保護・育成事業									
体系コード		事業区分		まちづくり市民連携事業							
2-5-37-10-39-2		地域分権区分									
事業内容		湘南海岸に自生する海浜植物の保護・育成活動を行ってまいります。 毎月第2日曜(月例会)、辻堂海浜公園内での生物調査、清掃作業を実施し、4月と10月に種まきと育苗した苗を海岸に移植、年3会(春夏秋)地元の中学生や一般の人たちを対象に視察研修会を開催してまいります。また、毎年開催される藤沢市環境フェア、茅ヶ崎市環境フェア、辻堂公民館祭り、辻堂海浜公園祭りに参加して参ります。									
活動指標											
目標値		現状値		3年後目標値		6年後目標値					
実績値		H23			H24			H25			
役割期待		神奈川県藤沢土木事務所、県立辻堂浜公園、県立湘南海岸公園、辻堂市民センター、長久保公園、湘洋中学校、高浜中学校、茅ヶ崎環境政策課との協働作業を通じて活動のPRや普及に努めています。									
事業スケジュール		第1期			第2期		第3期		第4期		
(市域全体)		H23		H24		H25					
(地域)		実施		→		→		→		→	
事業の成果		平成7年(1995年)に保全活動をはじめ、種まき、育苗、海岸への移植、今では約600株ほどまで植えました。2011年には鵠沼海岸に株を移植予定。2013年には茅ヶ崎海岸まで延長していきます。									
実施主体		湘南みちくさクラブ (連絡先) 0466-36-4861									

事業名	湘南なぎさ市事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-5-37-10-39-3	地域分権区分					
事業内容	藤沢市内の地域資源を発見・循環し、新しい価値観を創出することを目的に、体験ブース、バザーブース、パフォーマンスブース等、さまざまな形態に応じたオリジナルブース企画、ビーチクリーンを展開し、持続可能な藤沢市を支える「湘南市場(いちば)」を創りだす。					
活動指標						
目標値	現状値		3年後目標値		6年後目標値	
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	当団体は、事業の企画・計画・実施、他団体への呼びかけ、運営全般を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施 → → → → →					
事業の成果	未来へ繋ぐ藤沢の環境資源や社会資源を再発見し、持続可能な都市をささげるという役割を市民が認識できるようになります。また、市民の力を市民自らが認識し、公益的な活動への参加意欲を醸成します。					
実施主体	かながわecolife応援団				(連絡先) 0466-27-4057	

事業名	農業用水路等改修事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-37-10-40-1	地域分権区分					
事業内容	水田への安定した用水の確保は、農業生産の維持を図るうえで必要不可欠なものであるため、水田の農業生産者で組織した水利組合が実施する老朽化の著しい取水堰等の補修及び用水路・排水路の改修に対して助成を行います。また、安定した用水を確保し継続的な水田の耕作によって、自然豊かな田園環境の維持・保全を推進し、大切な地域資源の次世代への継承を図ります。					
活動指標	水路改修事業に係わる受益面積					
目標値	現状値	6.5ha	3年後目標値	8.2ha	6年後目標値	10.7ha
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	技術的指導及び助言を行い関係機関との調整を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施 → → → → →					
事業の成果	市民団体の水利組合が取り組む改修事業により、公共施設の維持と改修が進められるようになります。また、施設の改修により安定した用水の供給が行われ、水田耕作の維持ができるようになります。					
実施主体	藤沢市経済部農業水産課				(連絡先) 0466-25-1111	

事業名	市民農園開設支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-37-10-40-2	地域分権区分					
事業内容	耕作放棄地となる恐れのある農地を対象に、農業委員会・JAさがみ等関係機関と調整を図りながら、土地所有者と市民農園開設に向けた調整を行い、農用地区域との共存、整合性の維持などの調整を図りながら市民農園を開設し、市民に貸し出しを行います。 これにより、開設者が農業所得を得るだけでなく、都市住民と開設者である農業者との交流や、都市住民が農業に触れる機会の提供を図ります。					
活動指標	市民農園開設箇所数					
目標値	現状値	5	3年後目標値	8	6年後目標値	11
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	設置要綱に基づき、貸付協定書の締結など市民農園の開設支援を行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	耕作放棄地になる恐れのある農地を利用し、市民農園として貸し出すことにより、現在国が目指す耕作放棄地の発生抑制及び解消の一つの方法として効果が期待できます。					
実施主体	藤沢市経済部農業水産課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	自然環境共生推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-37-10-41-1	地域分権区分					
事業内容	自然環境実態調査事業として本市の貴重な自然環境を、広域的な連携を図り次世代に継承するとともに、市民を対象に自然保護意識の高揚、普及・啓発を図ります。また、「藤沢市ビオトープネットワーク基本計画」に基づき、ビオトープ拠点の保全・再生・創出を図るとともに、市民等協働による事業推進に向けた仕組みづくりを行います。更に、みどりの広域的ネットワークづくりについては、「みどり」を横断的、広域的に保全していくため周辺自治体と連携したネットワークづくりを進めます。					
活動指標	① ビオトープ推進組織の設立進捗率 ② 市民協働による自然環境実態調査実施進捗率					
目標値	現状値	①20%②0%	3年後目標値	①90%②70%	6年後目標値	①100%②100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	①多様な主体が役割を持って推進していくためのコーディネート及び財政支援を行います。 ②調査実施に関する財源の確保をします。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	「多様な動植物の生息・生育環境の保全・再生の推進」の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市まちづくり推進部まちづくりみどり推進課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	地域の自然観察会の実施事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-5-37-10-41-2	地域分権区分					
事業内容	江の島や新林公園の自然を解説しながら案内します。					
活動指標						
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	特になし					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	活動をさらに広げ、神奈川県内だけでなく他県の自然観察会を行っていききたいです。					
実施主体	グリーンタフ友の会			(連絡先)		

事業名	三大谷戸の保全事業(川名)					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-37-10-42-1	地域分権区分					
事業内容	自然環境実態調査事業として、本市の貴重な自然環境を、広域的な連携を図り次世代に継承するとともに、市民を対象に自然保護意識の高揚、普及・啓発を図ります。また、2. ビオトープネットワーク事業として、「藤沢市ビオトープネットワーク基本計画」に基づき、ビオトープ拠点の保全・再生・創出を図るとともに、市民等協働による事業推進に向けた仕組みづくりを行います。更に、みどりの広域的ネットワークづくりについては、「みどり」を横断的、広域的に保全していくため周辺自治体と連携したネットワークづくりを進めていきます。					
活動指標	①ビオトープ推進組織の設立進捗率 ②市民協働による自然環境実態調査実施進捗率					
目標値	現状値	①20%②0%	3年後目標値	①90%②70%	6年後目標値	①100%②100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	①多様な主体が役割を持って推進していくためのコーディネート及び財政支援を行います。 ②調査実施に関する財源の確保をします。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	「多様な動植物の生息・生育環境の保全・再生の推進」の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市まちづくり推進部まちづくりみどり推進課			(連絡先) 0466-25-1111		

事業名	三大谷戸の保全事業(石川丸山)					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-37-10-42-2	地域分権区分					
事業内容	<p>自然環境実態調査事業として、本市の貴重な自然環境を、広域的な連携を図り次世代に継承するとともに、市民を対象に自然保護意識の高揚、普及・啓発を図ります。また、ビオトープネットワーク事業では、「藤沢市ビオトープネットワーク基本計画」に基づき、ビオトープ拠点の保全・再生・創出を図るとともに、市民等協働による事業推進に向けた仕組みづくりを行います。更に、みどりの広域的ネットワークづくりについては、「みどり」を横断的、広域的に保全していくため周辺自治体と連携したネットワークづくりを進めます。</p>					
活動指標	①ビオトープ推進組織の設立進捗率 ②市民協働による自然環境実態調査実施進捗率					
目標値	現状値	①20%②0%	3年後目標値	①90%②70%	6年後目標値	①100%②100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>①多様な主体が役割を持って推進していくためのコーディネート及び財政支援を行います。 ②調査実施に関する財源の確保します。</p>					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	「多様な動植物の生息・生育環境の保全・再生の推進」の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市経営企画部経営企画課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	三大谷戸の保全事業(遠藤笹窪)					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-37-10-42-3	地域分権区分					
事業内容	<p>遠藤笹窪谷戸の保全事業を実施します。具体的には、希少種であるオオタカの営巣地である遠藤笹窪谷戸を市内に広がる田園景観や優良農地の緑地空間を含め、自然ネットワークとして保全するため、保全及び管理手法の検討を進める一方、必要に応じて緑地の取得を行います。</p>					
活動指標	第2期整備区域内の事業用地取得率					
目標値	現状値	53%	3年後目標値	54%	6年後目標値	55%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	保全に向けた体制や手法の検討について、役割を主体的に担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	緑地の取得や散策路(フットパス等)等整備、また公民連携による管理運営を推進することで、緑地及び里地里山・谷戸景観の保全が図られるとともに、地域振興及び市民の憩いの場としての利活用が図られることにより、「谷戸や緑地等自然環境の保全・再生の推進」に寄与します。					
実施主体	藤沢市まちづくり推進部西北部長後地区整備事務所					(連絡先) 0466-25-1111

【戦略目標】

1.1 愛着と誇りの持てる景観の保全と創造するまち

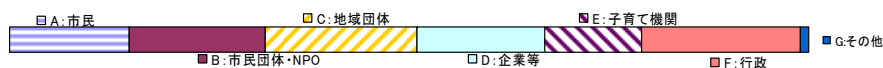
【成果指標】

- ① 市内にお気に入りのまちなみや景観がある人の割合
- ② 美しい街並みなど、都市景観の形成への満足度

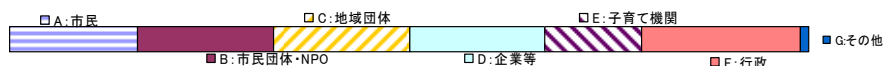
【現状値】 ①78% ②20%

【めざそう値】 3年後：①80% ②30% 6年後：①88% ②40%

【役割の担い手】 ①A:15% B:17% C:19% D:16% E:12% F:20% G:1%



②A:16% B:17% C:17% D:17% E:12% F:20% G:1%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-4.3》 地域の特性を生かした市民主体の景観まちづくりの推進

＜成果の視点＞ 地域の誇りとなる景観やまちを形成するためのルールづくりや、保全・整備により個性と風情があること

〔主要な指標〕 市内にお気に入りのまちなみや景観がある人の割合（20歳～40歳代）

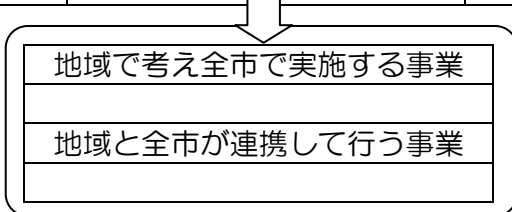
《政策-4.4》 新たな都市拠点に相応しい土地利用・景観の誘導と保全

＜成果の視点＞ 新しいまちの象徴となる景観、まちのかたちがあること

〔主要な指標〕 景観構造ゾーンにおける地区での景観形成に関する活動数

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

まちづくり 地域事業	まちづくり 行政事業 (地区)	まちづくり 行政事業 (全市)	まちづくり 市民連携 事業	まちづくり 公民連携 事業	まちづくり 広域連携 事業



事業名	景観資源推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-37-11-43-1	地域分権区分					
事業内容	<p>神奈川県「なぎさ軸広域景観構想」の策定(H21)及び平成22年度施政方針重点課題「広域連携のまちづくりの推進」を踏まえ、国道134号沿線の景観形成を優先しながら以下の事業を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 景観重要公共施設、景観重要建造物、景観重要樹木の指定 及び 景観計画の改定 国道134号等の景観重要公共施設の指定、景観形成地区の指定 2. 景観ベストテン、景観まちづくり賞、景観意識啓発イベント等の実施 					
活動指標	景観重要公共施設の指定数及び景観形成地区の指定数の累計					
目標値	現状値	0カ所	3年後目標値	3カ所	6年後目標値	6カ所
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	景観重要公共施設の指定に向けた基準の作成及び関係機関との協議、景観形成地区の指定に向けた基準の作成及び地域住民との協議を進める役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	地域の特性を活かした景観まちづくりの推進の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市計画建築部景観課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	市花「フジ」の保護・育成の支援とフジロードの実現化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-5-37-11-43-2	地域分権区分					
事業内容	<p>藤沢市の花「フジ」への市民の関心、愛着を高揚させると共に、藤沢市景観計画の基本方針を踏まえ、引地川、境川沿いにフジの花のある公園や遊歩道をつなぎ「フジロード」及び「フジの名所」を創り、市民の憩いの場としての公園の充実を図るために、フジの保護・育成の支援を行います。</p> <p>具体的には、担当課との連携の他、長久保公園花祭りへの参加、同公園での市民向け講習会の開催を行います。また、湘南ふじさわウォーキング協会のフジロードウォークの実施します。</p>					
活動指標						
目標値	現状値		3年後目標値		6年後目標値	
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	藤沢市まちづくりみどり推進課とフジに関する全ての情報提供、フジロード充実のための活動推進等を行い、適宜、観光課、広報課、景観まちづくり課と情報提供・活動の推進等を行います。また、藤沢市緑化事業協同組合とフジに関する情報提供等を実施します。更に、藤沢市まちづくり協会：長久保公園とフジの管理・育成・講習・藤の里の充実の為の活					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	現在構想中の「境川水辺ロード」を創り出します。また、2013年度には、江ノ島や夏の海水浴客のほか、春にも観光客を呼び込むことができ、子供から高齢者まで「一生住み続けたいまち湘南藤沢」の自然の保護、公園や遊歩道の機能向上の手段を構築に寄与します。					
実施主体	藤俱樂部					(連絡先) 0466-27-5192

事業名	落書き除去活動による環境保全事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-5-37-11-43-3	地域分権区分					
事業内容	<p>～まちの景観を台無しにするばかりか、放置していると他の犯罪に移行すると言われている落書き除去活動をしている環境保全事業。(6年前より継続)～</p> <p>この活動は、通常の我々ボランティア活動の他の連携・協働が必要であり、加えて活動内容を発展しなければなりません。又、落書きが書かれた管轄場所が市、県、東電、NTT、警察、個人等の多岐に渡っておりますが、管轄に関係なく全部消去しています。全部消去しなければ意味がありません。(重要)活動発表として、村岡NPOの展示を行い、県土木事務所の「建設ともしび運動」に参加します。更に、村岡地区の剣道312、302号線の環境活動に参加します。片瀬公民館の防犯グループもこの11月から国道134号を担当する事になりました。</p>					
活動指標						
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>連携、協働先として、羽鳥中学、市民活動推進センターと共催のボランティア体験及び、近藤乳業、市主催のバリューアックキャンペーン参加等を行っております。また、土木事務所から溶剤、用具が支給されます。市は各地区に対し、落書きマップを提出させ、地区毎に落書き消去(連携)を指示してほしいです。</p>					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
事業の成果	<p>再犯連続回数今年に入って10回の場所もあり、我々はその都度消去していますが、限度があります。私の観察では市の何部8地区位が落書き多いとみています。この現状が続く限り、1年後3年後の展望が0効果と見てます。</p>					
実施主体	かんきょう楽行/村岡の会			(連絡先) 0466-25-4024		

事業名	景観形成推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-37-11-44-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>景観計画では、藤沢駅、辻堂駅、湘南台駅の各駅周辺や、史跡名勝の江の島及び遠藤・御所見地区を景観構造のゾーンとして位置付けており、法や条例の制度を活用して良好な景観の形成を重点的に進めます。</p> <p>1 特別景観形成地区/景観形成地区の指定及び景観形成基準の設定 2 景観形成協議会の設立 3 景観法に基づく届出・認定申請における事前協議制度 4 歴史的景観の活用と保全</p>					
活動指標	景観形成協議会の開催回数の累計					
目標値	現状値		3年後目標値	15回	6年後目標値	30回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>地域が主体となった良好な景観形成に向けた協議、基準案の作成などの技術的支援の役割を担います。</p>					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	<p>それぞれの地域に相応しい景観形成の実現に寄与します。</p>					
実施主体	藤沢市計画建築部景観課			(連絡先) 0466-25-1111		

ふじさわ未来課題

45 地域の未来の担い手が育成されていること

～まちづくり情報～

- ① 各地区の公民館では、地域の伝統や風習などを学ぶ講座を実施しています。この講座では、お年寄りから教えを受け、子どもたちが学ぶという、世代を超えた交流もなされています。
- ② 生涯学習においては、専門的知識だけではなく、地域性や活動経験など、幅広い能力が求められるため、市では社会教育コーディネーターを設置し、地域の課題や特性、ニーズに応じた学習事業の実施に向けた取り組みを進めています。



【戦略目標】

12 地域づくりの未来の担い手が育つまち

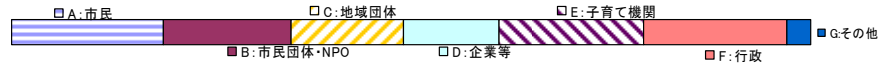
【成果指標】

- ① 藤沢の未来を担う担い手が育っていると感じる人の割合
- ② 気軽に利用できる学習施設の充実への満足度

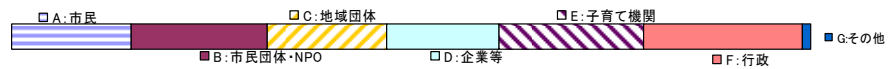
【現状値】 ①11% ②19%

【めざそう値】 3年後：①20% ②30% 6年後：①30% ②35%

【役割の担い手】 ①A:19% B:16% C:14% D:12% E:18% F:18% G:3%



②A:15% B:17% C:15% D:14% E:18% F:20% G:1%



政策と政策評価のための主要な指標

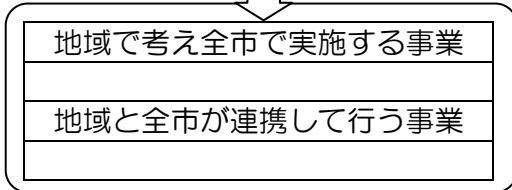
事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策－４５》 地域づくりの担い手を育成する多世代が交流する生涯を通じた学習の推進
 <成果の視点> 地域力を継承・発展するための気づきや学びの場があること

【主要な指標】 地域の課題や特性、ニーズに応じた学習事業の数

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

まちづくり 地域事業	まちづくり 行政事業 (地区)	まちづくり 行政事業 (全市)	まちづくり 市民連携 事業	まちづくり 公民連携 事業	まちづくり 広域連携 事業



事業名		生涯学習推進事業					
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-45-12-45-1		地域分権区分					
事業内容		<p>新生涯学習プランの施策の柱「コーディネート機能の充実」を達成するため、市民主体の生涯学習推進を図ります。新プランは平成23年度を初年度とし3年毎に見直し、6年毎に計画策定を行うとともに、新プラン推進の軸となる社会教育コーディネーター・公民館ボランティアの人材養成やフォローアップ研修を行い、地域での社会教育活動推進の核となる人材を配置します。また、生涯学習に関わる多様な主体や専門職員の連携による効率的・効果的な事業運営を行うための連絡会議を設置し、生涯学習ネットワークの強化を図ります。</p>					
活動指標		講座受講後の活動者数(人)					
目標値		現状値	0	3年後目標値	20	6年後目標値	40
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		社会教育コーディネーター等の地域づくりの担い手を養成する役割を担います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)		見直し	実施	→	→	→	→
事業の成果		「地域づくりの担い手を育成する多世代が交流する生涯を通じた学習の推進」及び、「多様な学びのできる生涯学習社会」の実現に寄与します。					
実施主体		藤沢市生涯学習部生涯学習課				(連絡先) 0466-25-1111	

事業名							
体系コード		事業区分					
		地域分権区分					
事業内容							
活動指標							
目標値		現状値		3年後目標値		6年後目標値	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待							
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)							
事業の成果							
実施主体		(連絡先)					

都市ビジョン2
地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性

6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化等の環境問題やエネルギー・食糧等の資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることをめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことめざします。

ふじさわ未来課題

49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市と茅ヶ崎市、寒川町は、湘南広域都市行政協議会で「湘南エコウェーブプロジェクト」として、電気自動車の導入促進、公共施設の緑化、レジ袋削減／マイバック持参キャンペーンなどを実施しています。
- ② 2010年(平成22年)4月から、片瀬地区・鵜沼地区をモデル地域に、賛同店舗事業者・消費者団体等各種団体・市の三者でレジ袋削減に向けた具体的な取組を開始するため、活動母体として「藤沢市レジ袋削減推進モデル地域協議会」を設置しています。
- ③ 2010年(平成22年)4月から、辻堂地区をモデル地区として資源戸別収集を実施しています。



この「ふじさわ未来課題」に関連する事業

【まちづくり市民連携事業】

市内の企業では、次のような取り組みが行なわれています。(藤沢市商業振興の規定による地域貢献計画より)

- ① 店舗内における分別収集の徹底 そうてつローゼン湘南台店、イオン株式会社ジャスコ藤沢店、FUJI 善行店、湘南とうきゅう、藤沢プラザ、つるかめランド六会店、株式会社ヨークマート六会店、ホテル法華クラブ藤沢
- ② 緑化協定への協力 イトーヨーカドー湘南台店

【戦略目標】

13 環境への負荷を軽減し、未来につなげる循環型社会の実現に取り組むまち

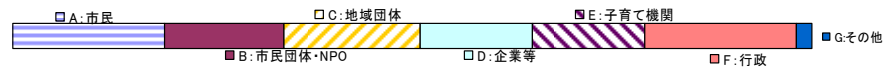
【成果指標】

- ① ごみの分別や節電など、環境を意識した行動をしている人の割合
- ② リサイクルされているゴミの割合

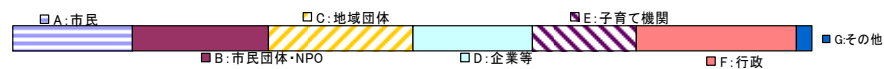
【現状値】 ①71% ②29%

【めざそう値】 3年後：①80% ②40% 6年後：①90% ②50%

【役割の担い手】 ①A:19% B:15% C:17% D:14% E:14% F:19% G:2%



②A:15% B:17% C:18% D:15% E:13% F:20% G:2%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-46》 地域と協働したきれいで住みよい環境づくりの推進

＜成果の視点＞ 地域で暮らしやすい環境を守り育てていること。

〔主要な指標〕 キャンペーン活動、ボランティア活動の延べ参加者数

《政策-47》 広域連携による廃棄物の適正処理及び環境啓発の推進

＜成果の視点＞ 近隣市町と連携して廃棄物が適正に処理されていること

〔主要な指標〕 廃棄物の資源化率

《政策-48》 廃棄物の減量と有効利用及びリサイクルの推進

＜成果の視点＞ ごみが少なくなり、資源が大切にされていること

〔主要な指標〕 廃棄物の減量率

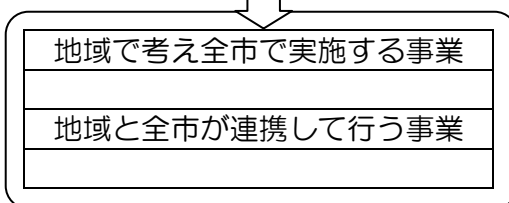
《政策-49》 自然環境の保全と、環境負荷低減の推進

＜成果の視点＞ 自然環境が汚染されておらず、環境に負担の少ない処理がされていること

〔主要な指標〕 境川、引地川水系のBOD年平均値

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

まちづくり 地域事業	まちづくり 行政事業 (地区)	まちづくり 行政事業 (全市)	まちづくり 市民連携 事業	まちづくり 公民連携 事業	まちづくり 広域連携 事業



事業名 環境啓発推進事業							
体系コード		事業区分 まちづくり行政事業(全市)					
2-6-49-13-46-1		地域分権区分					
事業内容		環境フェアの開催では、市民、事業者、学校、行政が協働して啓発イベントを実施します。また、市民、事業者、行政が環境情報を交換するポータルサイトを運営します。更に、環境大賞の実施、地球環境保全に関連した市民及び団体のアイデア、実践活動、普及活動等を募集、選考する環境大賞を実施します。加えて、市民ボランティアや市民団体と協働して環境モニター制度を実施します。					
活動指標		1990年比温室効果ガス削減量(目標は2022年に-40%)					
目標値		現状値	-23.4%	3年後目標値	-27.5%	6年後目標値 -31.7%	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		市は、啓発事業の企画、周知、実施を市民と協働して行います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
		実施	→	→	→	→	
(地域)							
事業の成果		以下のように啓発イベント等参加後の実践による温室効果ガスの削減を実現します。 ①エアコンの温度設定(冷房28度、暖房20度)・・・年間46.3Kg削減,②こまめな消灯・・・年間12.2Kg削減,③冷蔵庫の最小限の開閉・・・年間9.7Kg削減					
実施主体		藤沢市経営企画部環境都市政策課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名 生活環境美化推進事業							
体系コード		事業区分 まちづくり行政事業(全市)					
2-6-49-13-46-2		地域分権区分					
事業内容		藤沢市環境基本計画の環境目標「より多くの市民・事業者が環境への関心と意識を高く持ち、さまざまな環境保全活動と環境美化活動が展開されていること」を達成するため、生活環境美化推進事業を実施します。 1. 「藤沢市きれいで住みよい環境づくり条例」の推進に向けた普及・啓発活動等 2. 路上喫煙禁止区域の喫煙対策					
活動指標		条例キャンペーン活動箇所数					
目標値		現状値	3カ所	3年後目標値	6カ所	6年後目標値 9カ所	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		市は、キャンペーンの企画・立案・連絡調整を行います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
		実施	→	→	→	→	
(地域)							
事業の成果		「地域と協働したきれいで住みよい環境づくりの推進」に寄与します。					
実施主体		藤沢市環境部資源廃棄物対策課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名	ボランティア清掃事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-46-3	地域分権区分					
事業内容	地域で暮らしやすい環境を守り育てるために、ボランティア清掃事業を実施します。現在、市内各地区においては、生活連絡協議会が中心となり、ボランティア清掃が実施されていますが、今後は、市民・地域団体・NPO団体を中心としたボランティア清掃活動を充実させるための周知・啓発及び支援活動の推進を図っていきます。					
活動指標	ボランティア清掃実施回数					
目標値	現状値	490回	3年後目標値	520回	6年後目標値	550回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	ボランティア清掃活動を充実させるための周知・啓発及び支援活動での役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	地域内で、ボランティア清掃活動を行うことで、地域住民、団体による自主的な環境美化活動が活発化し、環境美化に対する意識の普及・啓発が図られることにより、「地域と協働したきれいで住みよい環境づくりの推進」の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市環境部資源廃棄物対策課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	リサイクルセンター整備(運営)事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-47-1	地域分権区分					
事業内容	「湘南東ブロックごみ処理広域化実施計画」に基づき、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の2市1町で、平成17年度にリサイクルセンターの基本構想の検討を実施します。また、藤沢市で1施設、茅ヶ崎市と寒川町で1施設の計2施設のリサイクルセンターを設置します。					
活動指標	広域連携による廃棄物の適正処理					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	公民の連携による廃棄物の適正な処理及び環境啓発の推進を行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	着手	→	運営			
事業の成果	広域連携を基本とした廃棄物処理の相互協力等、循環型社会形成の実現に寄与します。また、施設整備に関して、公設公営方式と本事業方式(DBO+DBM方式)を比較し、VFM(費用対効果)で施設整備費約25億円の財源縮減効果が見込めます。					
実施主体	藤沢市環境部資源廃棄物対策課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	リサイクルセンター整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-47-2	地域分権区分					
事業内容	<p>藤沢地域のリサイクルセンターを整備した後、特別目的会社(SPC)によるH25年度から20年間の良好な運営・維持管理を行います。</p> <p>市内より収集される一般廃棄物の内、可燃ごみを除く、不燃ごみ・大型ごみの処理を行う破砕処理施設とビン、缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装等の中間処理を行う資源化施設、新たにリサイクル展示場を統合し、施設見学及び体感・体験学習の機会提供など、ごみの減量・資源化に効果的な環境学習の拠点機能を備えた環境啓発施設を整備し、総合的な資源循環施設として整備した(仮称)藤沢市リサイクルセンター(PFI的手法(DBO+DBM方式))を、特別目的会社(SPC)により良好な運営・維持管理を行います。</p>					
活動指標	広域連携による廃棄物の適正処理					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	公民の連携による廃棄物の適正な処理及び環境啓発の推進をします。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	着手	施行	運営			
事業の成果	「広域連携による廃棄物の適正処理及び環境啓発の推進」の実現に寄与します。また、施設整備に関して、公設公営方式と本事業方式(DBO+DBM方式)を比較し、VFM(費用対効果)で施設整備費約25億円の財源縮減効果が見込めます。					
実施主体	藤沢市環境部資源廃棄物対策課			(連絡先) 0466-25-1111		

事業名	バイオエネルギー推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-47-3	地域分権区分					
事業内容	<p>環境負荷の軽減及びCO2削減効果を期待できる環境に配慮したバイオガス化施設を建設及び利用する事業として以下の事業を実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. バイオガス化施設整備基本検討業務の実施 2. 施設整備基本設計業務及び事業方式の検討業務の実施 3. 生活環境影響調査及びアドバイザー業務の実施 4. 北部旧1号炉、2号炉の解体工事及びバイオガス化施設の建設工事の実施 					
活動指標	広域連携による廃棄物の適正処理進捗度(工事進捗度)					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	30%	6年後目標値	50%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	廃棄物の適正処理及びエネルギーの有効利用を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討	検討	実施	→	→	→
事業の成果	「広域連携による廃棄物の適正処理及び環境啓発の推進」と「湘南東ブロックごみ処理広域化実施計画」による循環型社会の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市環境部石名坂環境事業所			(連絡先) 0466-25-1111		

事業名	石名坂環境事業所整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-47-4	地域分権区分					
事業内容	平成33年度まで稼働するために平成23・24年度に焼却設備の延命化工事を実施します。また、焼却設備の老朽化に伴う焼却炉の更新(更新工事は平成31年度から実施予定)を計画しております。 1. 施設の延命化 2. 廃棄物の適正処理 3. 余熱利用					
活動指標	広域連携による廃棄物の適正処理率					
目標値	現状値	—	3年後目標値	50%	6年後目標値	50%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	廃棄物の適正処理及びエネルギーの有効利用を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	「広域連携による廃棄物の適正処理及び環境啓発の推進」の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市環境部石名坂環境事業所 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名	北部焼却施設整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-47-5	地域分権区分					
事業内容	2号炉オーバーホール工事では、運転停止を行う平成24年度までの円滑な運転が保たれ、石名坂環境事業所の大規模改修に伴う処理の補完が可能になります。また、リサイクルセンター建設に伴う電気設備改修工事では、平成25年度稼働予定のリサイクルセンターへ1号炉で発電した電気を円滑に供給します。					
活動指標	広域連携による廃棄物の適正処理					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	広域連携による廃棄物の適正処理及びエネルギーの有効利用を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	工事	停止・工事	運用			
事業の成果	「広域連携による廃棄物の適正処理及び環境啓発の推進」の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市環境部北部環境事業所 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名	生ごみ堆肥化推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-48-1	地域分権区分					
事業内容	地域団体と連携した生ごみ堆肥化推進事業を実施する。 生ごみ堆肥化モデル事業では、地域レベルにおいてごみの減量化・資源化の推進を図るため、50世帯ぐらいの戸建ての住宅と、50世帯ぐらいの集合住宅において、大型生ごみ処理機を1台ずつ設置し、地域で各家庭の生ごみを持ちより大型生ごみ処理機により堆肥化し、その生成された堆肥を有効に活用して循環型社会の形成を推進します。					
活動指標	参加する世帯数(世帯)					
目標値	現状値	0	3年後目標値	100	6年後目標値	100
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	大型生ごみ処理機のリース・保守点検委託料等を負担。堆肥化推進の周知・啓発を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	→					
(地域)	実施	→	→			
事業の成果	地域レベルにおける生ごみの資源化を図ることによって、環境負荷の軽減並びに循環型社会の形成の推進が図られます。					
実施主体	藤沢市環境部資源廃棄物対策課					(連絡先) 0466-25-1111

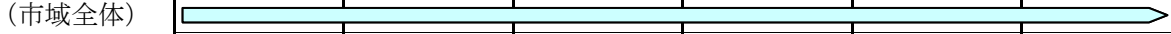
事業名	資源品目別戸別収集事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-48-2	地域分権区分					
事業内容	ごみ処理有料化3年後の検証に併せ『負担に感じている資源の分別当番』、『資源集積所までの資源の運搬』、『集合住宅を中心とした家庭内における資源ストック場所の問題』、『資源集積所の諸課題』といった市民負担の軽減及び資源収集に対する課題を解消するとともに、更なる分別徹底による資源の品質向上と回収量の増加を目的とし、資源の出しやすい環境づくりのため、資源の品目別戸別収集を行います。					
活動指標	資源化率					
目標値	現状値	29.1%	3年後目標値	30%	6年後目標値	35%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	収集計画の立案並びに市民への減量及び資源化促進の啓発を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	-----→			→		
(地域)	検討・調整	構築	構築	運用	→	→
事業の成果	『廃棄物の減量と有効利用及びリサイクルの推進』と『循環型社会にふさわしい最適なごみ処理システムの構築』の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市環境部環境事業センター					(連絡先) 0466-25-1111

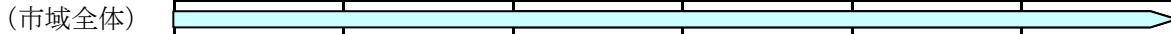
事業名	ごみ減量推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-48-3	地域分権区分					
事業内容	減量・資源化啓発事業として、ごみ処理有料化実施による減量・資源化率の向上を図ります。 また、小学4年生への体験学習の実施により、学童期から減量・資源化の学習を実施すること意識付けを実施します。加えて、ごみ検索システムの管理事業及び、資源とごみの分け方・出し方22万部作成し、各戸にポスティングすることによる分別の促進効果を狙います。更に 片瀬・鵜沼地区をモデル地区としたレジ袋削減の各種PR活動により、レジ袋削減を促します。					
活動指標	資源化率					
目標値	現状値	29.1%	3年後目標値	30%	6年後目標値	35%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	収集計画の立案並びに市民への減量及び資源化促進の啓発を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	『廃棄物の減量と有効利用及びリサイクルの推進』及び『地球温暖化防止活動の推進』の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市環境部環境事業センター					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	廃棄物処理対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-48-4	地域分権区分					
事業内容	「循環型社会にふさわしい最適なごみ処理システムの構築」にそって、以下の廃棄物の減量・資源化事業を実施します。 1.廃棄物の有効利用及び最終処分場の延命化を図るため、焼却灰の溶融処理等資源化の推進。 2.環境負荷をできる限り低減するため、廃PCBの処理に関する特別措置法に基づき、市の保有している廃PCBの処理の推進。					
活動指標	焼却灰の資源化率					
目標値	現状値	100%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	適正かつ安全な焼却灰の資源化を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	焼却灰等の埋立量が減り、最終処分場の延命化及び、焼却灰等の資源化により、「廃棄物の減量と有効利用及びリサイクルの推進」の実現に寄与します。焼却灰等の埋立量が減り、最終処分場の延命化を図ることができます。 焼却灰等の資源化により、資源の有効利用を図ることができます。					
実施主体	藤沢市環境部資源廃棄物対策課					(連絡先)

事業名		商品プラスチック資源化事業					
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(全市)			
2-6-49-13-48-5		地域分権区分					
事業内容		ごみ処理有料化3年後の検証に併せ、更なる分別徹底による資源の品質向上と回収量の増加を目的とし、現在有料で収集している不燃ごみの品目から一部を資源品目に追加指定し、市民負担削減の実施及び廃棄物の減量・資源化事業を実施します。					
活動指標		資源化率					
目標値		現状値	29%	3年後目標値	30%	6年後目標値	35%
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		収集計画の立案並びに市民への減量及び資源化促進の啓発を行います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)		実施	→	→	→	→	→
事業の成果		『廃棄物の減量と有効利用及びリサイクルの推進』と藤沢市一般廃棄物処理基本計画の基本方針『循環型社会にふさわしい最適なごみ処理システムの構築』の実現に寄与します。					
実施主体		藤沢市環境部環境事業センター				(連絡先) 0466-25-1111	

事業名		微小粒子状物質機器整備事業					
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(全市)			
2-6-49-13-49-1		地域分権区分					
事業内容		呼吸器疾患、循環器疾患及び肺ガンの疾患等に関して健康影響があるとされた微小粒子状物質の測定を実施します。市内の各測定局に測定機を設置することにより、市内全体の状況を把握することが可能となります。この測定結果については、国に報告され、自動車排出ガス対策や工場のばい煙対策を進める上での資料となります。					
活動指標		微小粒子状物質測定機設置局数					
目標値		現状値	0台	3年後目標値	5台	6年後目標値	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		市民の健康保護及び生活環境保全のため、微小粒子状物質の状況を把握し、市民にリアルタイムで公表します。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)		検討・調整	→	方針決定	活用	→	→
事業の成果		「地域から地球に広がる環境行動都市」及び「地球温暖化防止など未来の地球環境への投資」の実現に寄与します。					
実施主体		藤沢市環境部環境保全課				(連絡先) 0466-25-1111	

事業名	ゴミ処理の現状調査とデータ収集による結果の啓蒙活動事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-6-49-13-48-6	地域分権区分					
事業内容	産業から家庭にいたるまで、ゴミのリサイクル化方法の計画と実施及び、各年齢層別のゴミ排出現状と削減への提案を行います。また、路上禁煙、路上へのポイ捨て防止など身近なマナーの徹底と住み良い都市づくりへの監視と啓蒙活動を実施します。					
活動指標						
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民のボランティアや自治体との連携による協働作業グループづくりと監視活動の実施をします。また、シルバー人材センターのメンバーや警察官OBグループとの協働による監視の徹底し、海外の二の種のパトロールや監視活動グループとの交流意見交換会(定期開催)を開催します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
						
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	3年後の目標値を状況分析から設定し、その目標をクリアするための具体策を企画計画実施、活動の効果をレビューしつつ、修正したら次年度への計画へ反映させてゆきます。また、どの程度の数値が上がれば効果あったとするかの評価基準を設定していきます。					
実施主体	藤沢エコパートナーOB会(ごみ部会)			(連絡先)		

事業名	資源の有効活用と青少年の科学思想の育成の事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-6-49-13-48-7	地域分権区分					
事業内容	中古パソコンを解体してその内部部品をパネルに貼りつけて教材にし、湘南の小・中学校全校に寄贈するします。また、パソコンを分解したときに出るレアメタルを回収し、資源の有効利用を図ります。活動日を毎週の火曜日と木曜日にし、カットパネルの作成、PCの修理・組み立て等を行います。また、その他の活動として、市主催のイベントには参加しており、事業の宣伝やレッツ藤沢の講習会にカットパネルを提供して教材としての活用も進めております。					
活動指標						
目標値	現状値		3年後目標値		6年後目標値	
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	コネット湘南の作業場は(株)山武の一部をお借りしており、中古PCは市民及び各団体及び(株)山武から提供して頂いております。また、一般のボランティア及び湘南工科大学の学生のボランティアの協力してもらいながら、コネット湘南の会員が中心に活動しています。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
						
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	PCを廃棄焼却しないため二酸化炭素を削減し温暖化抑制に貢献し、レアメタルの回収を図ります。また、全国の小・中学校へのカットパネルの寄贈により、学生に対し科学思想、発明アイデアの啓蒙を促進します。					
実施主体	NPO法人 コネット湘南			(連絡先) 0466-25-0050		

事業名	下水道事業(汚水普及促進)(特別会計)					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-49-2	地域分権区分					
事業内容	<p>公共下水道全体計画区域を見直し、下水道整備区域と合併処理浄化槽設置促進区域を区分し、以下の効率的に汚水処理施設の整備事業を実施します。</p> <p>1. 公共下水道事業(下水道整備区域における汚水管渠整備)</p> <p>2. 合併処理浄化槽設置促進(合併処理浄化槽設置促進区域において、補助制度等を活用し合併処理浄化槽設置を促進)</p>					
活動指標	合併処理浄化槽設置基数					
目標値	現状値	770基	3年後目標値	962基	6年後目標値	1,106基
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	合併処理浄化槽設置促進を行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
事業の成果	「水、空気、土壌等の環境の保全と、環境負荷低減の推進」と下水道中長期ビジョンの基本目標「快適で潤いのあるまちづくりへの貢献」に寄与します。					
実施主体	藤沢市土木部土木経営課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	北部し尿処理施設整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-49-3	地域分権区分					
事業内容	<p>し尿処理施設整備関係事業の実施において、処理量が建設時より減少していることから施設規模を縮小し、処理も簡易な方式に見直しすることで経費の削減を図ります。</p>					
活動指標	し尿処理施設整備関係事業進捗度					
目標値	現状値	0	3年後目標値	10%	6年後目標値	15%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	環境に負担の少ない廃棄物処理を実施します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
事業の成果	<p>施設規模の縮小や処理方法の見直しにより環境負荷低減や経費削減が図られることで、「水、空気、土壌等の環境の保全と、環境負荷低減の推進」に寄与します。し尿処理施設整備関係事業</p> <p>施設規模の縮小や処理方法の見直しにより環境負荷低減や経費削減が図られます。</p>					
実施主体	藤沢市環境部北部環境事業所					(連絡先) 0466-25-1111

【戦略目標】

1.4 地域から低炭素社会をめざし、行動するまち

【成果指標】

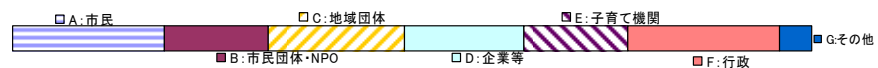
- ① 大気・水・土壌などの環境汚染防止への満足度
- ② レジ袋を辞退する割合
- ③ 藤沢市内住宅用太陽発電系統連携普及率

【現状値】 ①19% ②36% ③1.5%

【めざそう値】 3年後：①30% ②50% ③3.0%

6年後：①40% ②55% ③6.0%

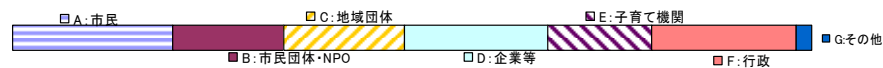
【役割の担い手】 ①A:19% B:13% C:17% D:15% E:13% F:19% G:4%



②A:17% B:15% C:15% D:18% E:12% F:21% G:2%



③A:20% B:14% C:15% D:18% E:13% F:18% G:2%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策－50》 環境にやさしい交通手段の促進

＜成果の視点＞ 環境に負担の少ない交通手段で移動していること

〔主要な指標〕 主要駅の乗車客数の合計

《政策－51》 環境に配慮した建築物の普及の推進

＜成果の視点＞ 環境に負担の少ない建物の維持管理と、その建設開発誘導がすすんでいること

〔主要な指標〕 公共施設におけるLED化率

《政策－52》 地球温暖化防止活動の推進

＜成果の視点＞ 地球温暖化防止に市民、市民ボランティア、NPO、大学、企業等と行政が連携して取り組んでいること

〔主要な指標〕 温室効果ガス削減累積量

戦略目標に関するまちづくり事業の状況


まちづくり 地域事業	まちづくり 行政事業 (地区)	まちづくり 行政事業 (全市)	まちづくり 市民連携 事業	まちづくり 公民連携 事業	まちづくり 広域連携 事業

↓

地域で考え全市で実施する事業
地域と全市が連携して行う事業

事業名	地域公共交通システム充実促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-50-1	地域分権区分					
事業内容	<p>地域における身近な足(交通機関)の確保に関しては、様々な交通システムに関する意見や要望が強くなることから、市民と協働・連携して研究を進め、具体的な課題について検討を行った上で、地域から実現性の高い計画案の提案があった場合において、予算を計上し地域に適した公共交通システムの導入を図ります。</p> <p>地域に適した公共交通システムの導入について市民(NPOや市民主体の組織が実施することも想定)や企業が実施することに関しては、行政が支援を行います。なお、支援においては、走行環境の整備や車両購入の補助等は行うが、運行補助については行わないことを基本として交通事業者との協調を図ります。</p>					
活動指標	地域公共交通の課題解決に取り組む地区数					
目標値	現状値	0	3年後目標値	2	6年後目標値	4
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	調査・研究(先進事例の解析等)を行い、市民が主体となった公共交通システムの導入を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	地域における様々な交通課題の解決に向けては、地域が主体的に取り組むことで、地域特性に応じたより身近な視点からの解決が期待できます。(持続可能なシステムとして定着をさせるためには、地域自らが運行・運営を担うなど積極的な関与も必要となる場合もあります。)					
実施主体	藤沢市計画建築部都市計画課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	バイオディーゼル燃料使用事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-50-2	地域分権区分					
事業内容	<p>政策-50『環境にやさしい交通手段の促進』と藤沢市一般廃棄物処理基本計画の基本方針3『循環型社会にふさわしい最適なごみ処理システムの構築』に沿って、廃棄物の減量・資源化事業を実施します。市独自で各家庭から回収した使用済み食用油をバイオディーゼル燃料としてリサイクルし、塵芥収集車への利用実験事業を行います。</p>					
活動指標	CO2削減量(Kg/CO2)					
目標値	現状値	37,000	3年後目標値	50,000	6年後目標値	50,000
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	塵芥収集車への使用実験及びリサイクルの啓発事業を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→			
事業の成果	1. バイオディーゼル燃料使用によるCO2削減効果(平成20年度 31, 200Kg/CO2削減、平成21年度 37, 488Kg/CO2削減効果)が見られます。 2. 塵芥収集車にバイオディーゼル燃料を使用することで、温暖化防止等への啓発効果が図られます。					
実施主体	藤沢市環境部環境事業センター					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	公共施設電灯LED化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-51-1	地域分権区分					
事業内容	政策-51「環境に配慮した建築物の普及の推進」を図るため、神奈川県グリーンニューディール基金を活用し、一年期4市民センター及び公民館の蛍光灯を照明器具のトップランナーであるLED照明管に交換し、電気使用量削減・CO2排出量を削減します。					
活動指標	温室効果ガス削減累積量					
目標値	現状値	0	3年後目標値	243t	6年後目標値	486t
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民センター・公民館は地域の方の活動拠点として、学習しながらLEDの良さと省エネ化をPRします。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	LED照明管を昨年度設置数で換算すると、1日10時間週5日稼働で算定すると、1年あたり約27tのCO2の削減となります。また、市民センター公民館は地域住民の方が学習をする場として利用しているため、LEDのPRをすることで、仮に1世帯60w電球をLEDに交換を全世帯でした場合、7w×10h×365day=26kwhの削減となります。					
実施主体	藤沢市経営企画部環境都市政策課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	長期優良住宅等促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-51-2	地域分権区分					
事業内容	環境に配慮した建築物の普及の促進の実現を図り、(仮称)藤沢市地球温暖化対策実行計画の中で長期優良住宅の普及の位置付けが検討されているため、長期優良住宅等促進事業を実施します。 長期優良住宅の普及促進のため、その住宅の良さや優遇制度を照会し意識啓発を行います。 また、神奈川県建築物環境性能表示制度のPRも併せて行います。【住宅の良さ】住宅を建て替えることなく長期に使用できるため、建築及び解体時に発生するCO2や廃棄物の発生を抑えることができ環境負荷を低減することができます。また、耐震性及び省エネルギー等についても高い性能を発揮します。【優遇制度】 所得税減税、登録免許税、不動産取得					
活動指標	長期優良住宅認定件数の建築確認件数に対する割合					
目標値	現状値	10%	3年後目標値	15%	6年後目標値	20%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	長期優良住宅が環境に優しいことをアピールし、市民の意識啓発を行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	環境に配慮した住宅の普及及び促進が見込まれます。					
実施主体	藤沢市計画建築部建築指導課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	地球温暖化対策関係事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-52-1	地域分権区分					
事業内容	<p>1. 電気自動車普及促進事業／電気自動車の導入に対し、国の補助金額の1/4を助成します。②既存の公用電気自動車を啓発用として活用するとともに、新たな電気自動車の導入を図ります。</p> <p>2. 住宅用太陽光発電システム導入推進事業 住宅用太陽光発電システムの導入の際、1Kw4万円、上限12万円を助成します。</p> <p>3. 地球温暖化対策地域協議会への支援事業 地球温暖化対策地域協議会との共催事業として、「ストップ温暖化！親子バスツアー」、「近隣大学生との意見交換会」等の啓発施策を実施します。</p> <p>4. 環境マネジメントシステム推進事業／市が1事業者としてエネルギーの削減を図るため、</p>					
活動指標	①住宅用太陽光発電システム系統連携普及率 ②電気自動車普及台数					
目標値	現状値	①1.5%②25台	3年後目標値	①3%②100台	6年後目標値	①3%②200台
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	時限を設定し、補助制度を創設します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	<p>1. 電気自動車普及促進事業 モデルケースとして、1台導入につき温室効果ガスを年間10トン削減します。</p> <p>2. 住宅用太陽光発電システム導入推進事業 モデルケースとして住宅用太陽光発電システムを3Kw導入した場合、年間1トン削減します。</p>					
実施主体	藤沢市経営企画部環境都市政策課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名	エコライフチェック推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-52-2	地域分権区分					
事業内容	<p>新総合計画の政策-52「地球温暖化防止活動の推進」、都市ビジョン2「地域から地球環境に広がる環境行動都市」、藤沢づくりのめざす方向性及び地球温暖化対策実行計画の基本理念である「未来の地球環境への投資を行う藤沢」に基づき、市民、事業者、行政で組織する「藤沢市地球温暖化対策地域協議会」と協働しながらエコライフチェックを推進します。</p> <p>1. エコライフチェックへの参加者の推進 温室効果ガス削減を図るため、日常生活の中で誰もが実践できる「エコライフチェック」の参加者を促進します。エコライフチェックは環境イベント等での配付や環境ポータルサイト「ふじさわエコ日和」にも掲載しています。</p>					
活動指標	エコライフチェックの参加者数					
目標値	現状値	1,222件	3年後目標値	2,100件	6年後目標値	3,000件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	環境イベント等での配付や普及啓発を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	<p>エコライフチェック参加後、実践による温室効果ガスを削減します。</p> <p>①エアコンの温度設定(冷房28度、暖房20度)・・・年間46.3Kg削減 ②こまめな消灯・・・年間12.2Kg削減 ③冷蔵庫の最小限の開閉・・・年間9.7Kg削減</p>					
実施主体	藤沢市経営企画部経営企画課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名	バイクシェアリング事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-52-3	地域分権区分					
事業内容	2009年湘南ビジネスコンテストでグランプリを受賞した地元のベンチャー企業である「㈱ペダル」と市内唯一の工学系大学「湘南工科大学」と連携をし、環境にやさしい自転車のシェアリングシステムを実施します。本市の役割である、ステーションで利用する公共用地、道路空地を提供するとともに、広報PRを積極的に行います。社会実験期間は、平成25年3月末を設定しているが、事業者である㈱ペダルが営業ベースに乗った中で社会実験から民間運営に移行する予定です。将来的には、市内に限らず近隣市と協調し、点から面でのシェアリングの可能性を検討します。					
活動指標	1台あたりの回転率					
目標値	現状値	—	3年後目標値	3	6年後目標値	(民間運営)
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	広報PR、ステーションに使用する公共用地及び公共空地を活用します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→			
事業の成果	自転車のシェアリングという新たな交通システムを構築することで、車の利用の軽減から温室効果ガス抑制と繋げるとともに、各商店街の活性化・駐輪場の軽減などの効果が考えられます。					
実施主体	藤沢市経営企画部市民経営推進課環境都市政策課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	電気自動車急速充電ネットワーク事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-52-4	地域分権区分					
事業内容	神奈川県では、電気自動車市販後5年以内に3000台普及を目指し様々な施策を展開しています。本市では、湘南海岸に年間1600万人の観光客が訪れ特に夏場は満船的な渋滞が発生しています。温室効果ガス発生抑制を目的に本市でも電気自動車普及施策を展開を行っています。電気自動車普及には、インフラ整備の充実が不可欠と考え、神奈川県保有の公園、駐車場への急速充電設備の設置、大型ショッピング店への設置、電気自動車発売メーカーへ働きかけ、充電ネットワークを構築するものです。					
活動指標	急速充電設備設置箇所					
目標値	現状値	4箇所	3年後目標値	7箇所	6年後目標値	10箇所
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	設置についての依頼を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	温室効果ガス発生抑制で運輸部門のトップランナーである電気自動車で本市を含む湘南地域に訪れても安心なネットワークづくりを構築することで、温室効果ガス低減を図ります。					
実施主体	藤沢市経営企画部環境都市政策課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	建物緑化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-52-5	地域分権区分					
事業内容	1. 建物緑化助成事業(一般) 市内の建物緑化設置者への助成を行います。 2. 建物緑化助成事業(義務化) 商業地域・近隣商業地域における建築行為の際の建物緑化の義務化、義務化に対する助成を行います。 3. 建物緑化賞の表彰 市内の優れた建物緑化への表彰を行います。 4. 建物緑化普及・啓発事業 緑のカーテン/田種子の配布 公共施設における建物緑化(緑のカーテン/今わ)を設置等					
活動指標	①目標値に対する建物緑化助成面積(m ²) ②目標に対する建物緑化助成件数(件)					
目標値	現状値	①1,366②41	3年後目標値	①1,990②128	6年後目標値	①2,614②215
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	財源確保、普及啓発を行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
事業の成果	建物緑化施設整備への助成、普及啓発を推進することにより、都市気象の改善(ヒートアイランド現象の緩和、過剰乾燥防止等)、省エネルギー(夏期の温度上昇軽減、冬期の保温等)、都市の自然性を高める(生物の生息空間、ビオトープネットワークの創出等)といった効果のある建物緑化の普及が図られます。					
実施主体	藤沢市まちづくり推進部まちづくりみどり推進課				(連絡先) 0466-25-1111	

事業名	コンポストの普及事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-6-49-14-52-6	地域分権区分					
事業内容	庭のある家庭でコンポストを利用してもらいます。					
活動指標						
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市の職員も庭のある方は利用して欠点を研究してもらいます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
事業の成果	コンポストの欠点を研究して、各場所で指導をし、利用人口の拡大と二酸化炭素削減資源ゴミとして肥料に循環利用を促進させます。					
実施主体	岩隈京子さん				(連絡先)	